

經 營 学 部

履 修 要 項

昭 和 59 年 度

駒 澤 大 學

# 学 年 曆

## 前 期

- 4月8日(日) 入学式(学部・短大)  
 积尊降誕会
- 9日(月) }  
 12日(木) } 新入生オリエンテーション
- 12日(木) }  
 13日(金) } 在校生成績発表(学部・短大)
- 14日(土) 授業開始
- 12日(木) }  
 17日(火) } 在校生成績質疑応答
- 20日(金) }  
 21日(土) } 1年次生単位履修届受付
- 23日(月) }  
 28日(土) } 2・3・4年次生単位履修届受付  
 (学部により受付日が異なる)
- 29日(日) 天皇誕生日
- 5月1日(火) 祝禱日
- 3日(木) 憲法記念日
- 4日(金) 研修日(全学休業)
- 5日(土) こどもの日
- 14日(月) }  
 23日(水) } 2・3・4年次生健康診断
- 6月1日(金) 祝禱日
- 11日(月) 卒業論文論題提出締切(正午)
- 7月1日(日) 祝禱日
- 9日(月) }  
 14日(土) } 中間試験(授業平常通り)
- 15日(日) 盂蘭盆会
- 16日(月) }  
 17日(火) } 前期定期試験(前期終了科目)  
 (授業休講)
- 18日(水) 夏季休暇第1日

## 後 期

- 9月10日(月) 授業再開
- 12日(水) 前期定期試験欠試届(追試申込)  
 提出締切
- 13日(木) }  
 20日(木) } 外国語指定届受付(仏教・文(除英  
 米文)・法学部・短大国文・英文の  
 1年次生及び経済学部の2年次生)
- 15日(土) 敬老の日
- 17日(月) }  
 18日(火) } 前期定期試験成績発表および再試験  
 申込受付
- 23日(日) 秋分の日
- 26日(水) }  
 28日(金) } 前期追・再試験(授業平常通り)

- 29日(土) 両祖(道元・瑩山禪師)忌
- 10月1日(月) 祝禱日
- 2日(火) }  
 5日(金) } 1年次生健康診断
- 5日(金) }  
 4日(木) } 達磨忌
- 5日(金) }  
 10日(水) } 歴史・社会学科(1年次生)専攻コ  
 ース指定届受付
- 11日(木) }  
 12日(金) } 体育の日
- 15日(月) }  
 11日(木) } 前期追・再試験成績発表
- 12日(金) }  
 15日(月) } 第102回開校記念日
- 11月1日(木) 祝禱日
- 3日(土) 文化の日
- 14日(水) }  
 16日(金) } 転部科試験願書受付
- 21日(水) 太祖(瑩山禪師)降誕会
- 23日(金) 勤労感謝の日
- 30日(金) 転部科試験
- 12月1日(土) 祝禱日
- 5日(水) }  
 13日(木) } 編入学願書受付
- 8日(土) 成道会
- 10日(月) 卒業論文提出締切(正午)
- 18日(火) 冬季休暇第1日
- 19日(水) 編入学試験

## 昭和60年

- 1月8日(火) 授業再開
- 15日(火) 成人の日
- 16日(水) }  
 26日(土) } 定期試験(専門・基礎・教職科目)
- 26日(土) 高祖(道元禪師)降誕会
- 28日(月) }  
 2月5日(火) } 定期試験(一般・外国語・保健体育  
 科目)
- 2月1日(金) 祝禱日
- 7日(木) }  
 11日(月) } 定期試験欠試届提出締切  
 卒業論文口頭試問
- 15日(金) 建国記念の日
- 15日(金) 涅槃会
- 20日(水) }  
 21日(木) } 学部4年次生・短大生成績発表およ  
 び追・再試験申込受付
- 27日(水) }  
 3月5日(火) } 学部4年次生・短大生追・再試験,  
 学部1・2・3年次生追試験
- 3月1日(金) 祝禱日
- 19日(火) 卒業生名簿発表
- 21日(木) 春分の日
- 25日(月) 卒業式

# 目 次

I	単位制と学年制	(2)
1.	単位制と学年制	(2)
2.	授業科目の単位計算	(2)
3.	授業科目の区分	(2)
II	卒業に必要な単位数と学士号	(3)
1.	卒業に必要な単位数	(3)
2.	学 士 号	(4)
III	授業科目の履修方法	(5)
1.	一般教育科目の履修方法	(5)
2.	外国語科目の履修方法	(6)
3.	保健体育科目の履修方法	(8)
4.	基礎教育科目の履修方法	(10)
5.	専門教育科目の履修方法	(10)
6.	随意科目の履修方法	(12)
7.	再履修科目の履修方法	(12)
	※コード番号について	(13)
IV	履修科目の登録（履修届）とその作成順序	(15)
1.	履修科目の登録	(15)
2.	履修届記入上の注意	(16)
3.	履修届の作成順序	(17)
V	試験および成績評価	(18)
1.	定期試験	(18)
2.	中間試験	(18)
3.	追・再試験	(18)
4.	成績評価・単位認定	(19)
5.	進級基準	(19)
6.	受験者心得	(19)
VI	クラス制およびクラス主任	(21)
VII	教職課程・資格講座	(21)
VIII	事務取り扱いについて	(22)
IX	届書・願書について	(23)
X	各種証明書取扱い窓口	(24)
	講 義 内 容	(25)

# I 単位制と学年制

## 1. 単位制と学年制

授業科目の履修は「大学設置基準」に基づく単位制によって行う。単位制とは、各入学年度によって定められた一定の基準にしたがって授業科目を履修し、試験に合格することによってその授業科目に与えられている単位を修得していく制度である。卒業所要単位を修得するまでの在学期間は4カ年以上（7カ年をこえてはならない）である。

また、単位の修得を体系的かつ合理的に進めるために、各年次において必修すべき科目と選択すべき科目が配当されている。

## 2. 授業科目の単位計算

授業科目の単位数は次のような基準によって定められている。

1単位とは1科目につき45時間を通じて行う学修活動のことである。この45時間の学修活動は教室内における授業時間と教室外で学生各自が自主的に行う自習時間からなっていて、授業時間と自習時間の割合は、授業科目によって異なっている。

## 3. 授業科目の区分

授業科目は次のように区分される。

1. 一般教育科目（人文分野・社会分野・自然分野）
2. 外国語科目（第1外国語・第2外国語）
3. 保健体育科目（講義・実技）
4. 基礎教育科目（必修科目）
5. 専門教育科目（必修科目・選択科目）
6. 随意科目（卒業に必要な単位に含まれない科目）
  - (a) 必修科目……必ず履修しなければならない科目
  - (b) 選択必修科目……数科目の中から所定の科目数または単位数を選び、必ず履修しなければならない科目
  - (c) 選択科目……自由に選び履修できる科目

## Ⅱ 卒業に必要な単位数と学士号

### 1. 卒業に必要な単位数

#### A. 58年度以降入学生適用

授業科目の区分		科目数	修得単位	計	合計
一般教育科目	人文分野	4	16	36	142以上
	社会分野	3	12		
	自然分野	2	8		
外国語科目	第1外国語	4	8	16	
	第2外国語	4	8		
保健体育科目	講義	1	2	4	
	実技	1	2		
基礎教育科目		2	8	8	
専門教育科目	必修	3	12	78	
	選択	17	66		

#### B. 56～57年度入学生適用

授業科目の区分		科目数	修得単位	計	合計
一般教育科目	人文分野	4	16	36	142以上
	社会分野	3	12		
	自然分野	2	8		
外国語科目	第1外国語	4	8	16	
	第2外国語	4	8		
保健体育科目	講義	1	2	4	
	実技	1	2		
基礎教育科目		1	4	4	
専門教育科目	必修	3	12	82	
	選択	18	70		

C. 53～55年度入学生適用

授業科目の区分		科目数	修得単位	計	合計
一般教育科目	人文分野	4	16	36	142以上
	社会分野	3	12		
	自然分野	2	8		
外国語科目	第1外国語	4	8	14	
	第2外国語	3	6		
保健体育科目	講義	1	2	4	
	実技	1	2		
基礎教育科目		1	4	4	
専門教育科目	必修	4	14	84	
	選択	18	70		

D. 52年度以前入学生適用

授業科目の区分		科目数	修得単位	計	合計
一般教育科目	人文分野	4	16	36	142以上
	社会分野	3	12		
	自然分野	2	8		
外国語科目	第1外国語	4	8	14	
	第2外国語	3	6		
保健体育科目	講義	1	2	4	
	実技	1	2		
基礎教育科目		1	4	4	
専門教育科目	必修	5	16	84	
	選択	17	68		

2. 学 士 号

大学に4カ年以上（7カ年をこえてはならない）在学し、卒業に必要な単位を修得した者には卒業証書を授与し、経営学士の称号が与えられる。

### Ⅲ 授業科目の履修方法

#### 授業科目履修上の注意

- イ. 授業科目は、教授会の定めるところに従い各学年に配分する。ただし随意科目はこの限りではない。
- ロ. 授業時間表の備考欄に番号が指定された科目は本人の学生番号のクラスで履修すること。（再履修または指定された学年で履修できなかった場合はこの限りではない）
- ハ. 各学年に配分された授業科目は、当該学年に限り履修することができる。ただし、下級学年に配当された授業科目を上級学年で履修することはさしつかえない。
- ニ. 各学年の履修科目数の最低および最高限度は、教授会の定めるところによる。
- ホ. 一度単位の認定を受けた授業科目は、再度履修しても認定されない。

#### 1. 一般教育科目の履修方法

人文分野 4単位ずつ4科目 計16単位  
 社会分野 4単位ずつ3科目 計12単位 } 合計 9科目 36単位  
 自然分野 4単位ずつ2科目 計8単位

※2年次までに所定の単位を修得していなければならない。

分野	授業科目	単位	履修科目数	修得単位	計	備考
人文分野	宗教学Ⅰ（1年次必修）	4	「宗教学Ⅰ」・「宗教学Ⅱ」の2科目を含めて4科目選択必修	16	36	
	宗教学Ⅱ（2年次必修）	4				
	哲学	4				
	論理学	4				
	倫理学	4				
	文文学	4				
社会分野	法学憲法 (日本国憲法2単位を含む)	4	3科目選択必修	12	36	教員免許状を取得しようとするものは「法学憲法」を必修とする
	社会学（2年次）	4				
	地理学	4				
	統計学（2年次）	4				
	文化人類学	4				
自然分野	自然科学概論	4	2科目選択必修	8	36	
	数学	4				
	心理学（2年次）	4				

※「宗教学Ⅰ」の授業は木曜日に玉川校舎（道順は学生部で配布の学生手帳を参照）で行う。

## 2. 外国語科目の履修方法

外国語科目は英語・ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・ロシア語の6カ国語が開講されている。これらのうち英語と入学手続の際に指定した外国語の2カ国語を履修することになり、その2カ国語を1年次および2年次において必要な科目数・単位数を必ず履修しなければならない。ただし、56年度以降入学生は第1外国語が英語、第2外国語は他の外国語となる。

履修年次	第1外国語		第2外国語	
	科目数	単位数	科目数	単位数
1年次	2科目	4	2科目	4
2年次	2科目	4	2(1)科目	4(2)
計	4科目	8	4(3)科目	8(6)

※( )内の数字は55年度以前入学生適用

### 1年次の履修

6カ国語のうち英語1G・1Rの2科目と入学手続の際に指定した外国語1G・1Rの2科目の計4科目8単位を必修とする。

授業科目	単位	科目内容	履修科目数	備考
英語 1G	2		1G・1R 2科目を必修とする。ただし1Gは英会話または英語LLに代替できる	LL (ランゲージ・ラボラトリー)
英語 1R	2			
英会話	2			
英語 LL	2	視聴覚教材を使用した語学教育		
ドイツ語 1G	2	文法	5カ国語のうちから入学手続の際指定した1カ国語1G・1Rの2科目を必修すること	
ドイツ語 1R	2	講読		
フランス語 1G	2	文法		
フランス語 1R	2	講読		
中国語 1G	2	文法		
中国語 1R	2	講読		
スペイン語 1G	2	文法		
スペイン語 1R	2	講読		
ロシア語 1G	2	文法		
ロシア語 1R	2	講読		

### ※英語科目内容

英語1G：意志表現と意志伝達の基礎を把握する。

英語1R：講読を通し内容と文構造の基本を把握する。

※「英語1R」の授業は木曜日に玉川校舎（道順は学生部で配布の学生手帳を参照）で行う。

## 2年次の履修

### A. 56年度以降入学生適用

1年次で履修の2カ国語を、それぞれ2科目ずつ計8単位必修とする。

#### 第1外国語（英語を2科目4単位必修）

授 業 科 目	単 位	備 考
英 語 2 A I	2	
英 語 2 A II	2	

#### ※英語科目内容

英語2 A I：講読を通しはば広い教養を修得する。

英語2 A II：意志表現と意志伝達の能力を発展させ応用力を修得する。

#### 第2外国語（1年次で履修の英語以外の1カ国語を2科目4単位必修）

授 業 科 目	単 位	科 目 内 容	授 業 科 目	単 位	科 目 内 容
ド イ ツ 語 2 A I	2	講 読	ス ペ イ ン 語 2 A I	2	講 読
ド イ ツ 語 2 A II	2	講 読	ス ペ イ ン 語 2 A II	2	講 読
フ ラ ン ス 語 2 A I	2	講 読	ロ シ ア 語 2 A I	2	講 読
フ ラ ン ス 語 2 A II	2	講 読	ロ シ ア 語 2 A II	2	講 読
中 国 語 2 A I	2	講 読			
中 国 語 2 A II	2	講 読			

### B. 55年度以前入学生適用

1年次で履修の2カ国語のうち、いずれかを第1外国語とし、2 A I・2 A IIの2科目4単位、他方を第2外国語として2 Bを1科目2単位、計3科目6単位を必修とする。

#### 第1外国語（指定した外国語の2 A I・2 A IIの2科目4単位必修）

授 業 科 目	単 位	科 目 内 容	授 業 科 目	単 位	科 目 内 容
英 語 2 A I	2	講 読	中 国 語 2 A I	2	講 読
英 語 2 A II	2	講 読	中 国 語 2 A II	2	講 読
ド イ ツ 語 2 A I	2	講 読	ス ペ イ ン 語 2 A I	2	講 読
ド イ ツ 語 2 A II	2	講 読	ス ペ イ ン 語 2 A II	2	講 読
フ ラ ン ス 語 2 A I	2	講 読	ロ シ ア 語 2 A I	2	講 読
フ ラ ン ス 語 2 A II	2	講 読	ロ シ ア 語 2 A II	2	講 読

## 第2 外国語（指定した外国語の2 Bを1科目2単位必修）

授 業 科 目	単 位	科 目 内 容	授 業 科 目	単 位	科 目 内 容
英 語 2 B	2	講 読	中 国 語 2 B	2	講 読
ド イ ツ 語 2 B	2	講 読	ス ペ イ ン 語 2 B	2	講 読
フ ラ ン ス 語 2 B	2	講 読	ロ シ ア 語 2 B	2	講 読

### 外国語科目履修上の注意

- イ. 外国語科目の組分けは、すべて授業時間表で指定するので、学生は自己の学科・学生番号（下4ケタ）により該当するクラスを履修すること。
- ロ. なお一層の語学教育を望む学生は、外国語随意科目を開講しているので進んで履修されたい。
- ハ. 不合格科目の再履修については、別に定める。
- ニ. 2年次までに所定の単位を修得していなければならない。

### 3. 保健体育科目の履修方法

講義と実技に分かれ、1年次に2科目4単位を必修とする。

	授 業 科 目	単 位	備 考
講 義	保健体育理論	2	前期または後期
実 技	体育実技	2	

- イ. 講義の前期・後期の別は授業時間表で指定する。
- ロ. 講義、実技とも1年次で不合格となった者は「再履修クラス」を履修し単位を修得する。
- ハ. 講義、実技とも2年次までに所定の単位を修得していなければならない。
- ニ. 講義、実技とも木曜日に玉川校舎で授業を行う。

#### 体育実技履修上の注意

##### イ. 授業について

前期・後期ともそれぞれ履修時間に含まれている数種目の中から希望する種目を選択し受講する。ただし、前期と後期は同一種目を選択することはできない。

##### (a) 種目選択届

最初の授業時間に、前期・後期ともつぎの履修時間に含まれている数種目の中から、決定するので、必ず出席すること。

##### (b) 単位履修届

教務部に提出する「単位履修届」の科目名、担任名は授業時間表による科目名・担任名を記入すること。選択した種目名また種目の担任名ではない。

木・2 (営)	木・3 (営)
ゴルフ ◎三幣	ゴルフ ◎三幣
陸上競技 森本	トレーニング 高橋
室内球技 光永	室内球技 光永
空手道 高橋	卓球 宮沢
卓球 宮沢	テニス 田中
相撲 館岡	相撲 館岡

※体育実技の組分については、時間表参照のこと。

再履修クラス（2年次生以上の再履修者のクラスで授業は本校で行う）

火・3	水・1	水・2
室内球技 ◎長浜	室内球技 ◎原山	室内球技 ◎原山
太極拳 大石	剣道 上山	剣道 上山

※◎印は講座主任

ロ. 単位の認定について

1年間の授業を通して2単位を認定する。前期と後期は種目選択の上で便宜上分けられるもので、あくまでも1年間の授業を通して単位を認定する。

ハ. 評価について

週一回の授業を真剣に受講することが実技の重要な意味であることから本学においては出席を評価の上で最も優先させている。この基盤の上に立って前期・後期それぞれの種目において行われる実技試験の点数、および平常の授業における態度が加味されて、実技の評価が行われる。

ニ. 校外学習

夏と冬の二回にわたって実施する。参加は希望制であり人数の制限がある。これは単位認定とは直接関係のない保健体育部主催の行事であるが、実技を受講している学生が参加した場合には評価の上で幾分か加味される。

ホ. 見学について

身体の具合が悪い場合は、担任教員にその旨を報告し、授業を真面目に見学すること。

※長期見学者：前期または後期をほとんどあるいは全部見学せざるを得ない精神および身体上の故障や病気を持っている場合は長期見学者として取り扱い、毎時間の真面目な見学をもって出席に代える。また、実技テストは行わずレポートをもってこれに代える。レポートの課題については担任教員より指示を受けること。

ヘ. 服装・更衣について

種目毎に、それぞれの担任教員の指示に従い、指定された場所以外では着替えないこと。

ト. 盗難・事故・負傷について

- (a) 盗難：実技の受講日には貴重品は持参しないこと。やむを得ず持参した場合には担任教員に指示を受けること。最近特に実技の時間を狙った常習者が横行しているので充分注意してほしい。
- (b) 事故・負傷：実技の時間に事故や負傷が発生した場合には直ちに担任教員に報告し適切な指示を受

けること。

チ. 掲示板の利用について

実技上の連絡は、玉川校舎事務室前の掲示板および玉川校舎入口の黒板に掲示するので、平常よく見  
ておくこと。

#### 4. 基礎教育科目の履修方法

##### A. 58年度以降入学生適用

専門教育科目の基礎となる授業科目で1年次2科目8単位を必修とする。

履修年次	授業科目	単位	備 考
1年次	経済学概説	4	
	経営学概説	4	

##### B. 57年度以前入学生適用

専門教育科目の基礎となる授業科目で1年次1科目4単位を必修とする。

履修年次	授業科目	単位	備 考
1年次	経済学概説	4	

#### 5. 専門教育科目の履修方法

専門教育科目は必修科目と選択科目に分かれ、それぞれ定められた単位を修得することになっている。  
履修する授業科目の選択については専門科目全般にわたって充分検討して履修すること。なお一度単位を  
修得した授業科目については再度履修することはできない。

##### 必修科目

A. 56年度以降入学生適用 3科目12単位

B. 53～55年度入学生適用 4科目14単位

C. 52年度以前入学生適用 5科目16単位

1年次必修			2年次必修		
授業科目	単位	備 考	授業科目	単位	備 考
簿記学	4	旧簿記	経営学	4	
プロゼミ I	2	55年度以前の入 学生のみ必修	会計学	4	
			プロゼミ II	2	52年度以前の入 学生のみ必修

選択科目

- A. 58年度以降入学生適用（66単位以上）
- B. 56～57年度入学生適用（70単位以上）
- C. 53～55年度入学生適用（70単位以上）
- D. 52年度以前入学生適用（68単位以上）

1 年 次 選 択			3・4 年 次 選 択			3・4 年 次 選 択		
授業科目	単位	備 考	授業科目	単位	備 考	授業科目	単位	備 考
プロゼミⅠ	2	※イ	経営労務論	4		経営分析論	4	
2 年 次 選 択			経営財務論	4		日本経済論	4	
経営史	4		管理会計論	4		商業史	4	
経済原論	4	休講	上級簿記	4	旧簿記原理	国際金融論	4	
経営管理論	4		経営統計	4		財務会計論	4	
原価計算論	4	旧原価計算	経営情報論	4		マーケティング論	4	
企業形態論	4		経営組織論	4		銀行経営論	4	
統計原論	4		経営技術論	4		財政学	4	
日本経済史	4		商業経営論	4		国際経済論	4	
民法Ⅰ	4		公益企業論	4		貿易経営論	4	
プロゼミⅡ	2	※ロ	保険経営論	4		会計監査論	4	旧会計監査
プログラミング論	4		金融論	4		税務会計論	4	旧税務会計
近代経済学	4		貿易政策	4	休講	証券市場論	4	
3 年 次 選 択			民法Ⅱ	4		日本経営史	4	
商法Ⅰ	4		経済政策	4		4 年 次 選 択		
演習Ⅰ	4		経営科学	4	休講	商法Ⅱ	4	
3・4 年 次 選 択			外書講読	4		労働法	4	
経営学史	4		アメリカ経営学	4		演習Ⅱ	4	

※イ. 55年度以前の入学生はプロゼミⅠを必修とする。

※ロ. 52年度以前の入学生はプロゼミⅡを必修とする。

## 6. 随意科目の履修方法

随意科目は2・3・4年次で履修することができるが、卒業に必要な単位に含めることはできない。

授 業 科 目	単 位	備 考	授 業 科 目	単 位	備 考
比 較 思 想 特 講	4		日 本 語 F	2	(初級・中級)
ド イ ツ 語 F	2		ド イ ツ 語 F L L	2	(初級・中級)
フ ラ ン ス 語 F	2		フ ラ ン ス 語 F L L	2	(初級・中級)
中 国 語 F	2		中 国 語 F L L	2	(初級・中級)
ス ペ イ ン 語 F	2		ス ペ イ ン 語 F L L	2	(初級・中級)
ロ シ ア 語 F	2		ロ シ ア 語 F L L	2	(初級・中級)

※日本語Fは外国人留学生のみを対象とする科目で1年次生より履修できる。

## 7. 再履修科目の履修方法

イ. 再履修とは、前年度履修登録し単位を修得できなかった授業科目（受験しなかった科目を含む）を翌年度に再度履修することをいう。この場合授業科目名が同じであれば担任教員に変更があっても同一科目の再履修となる。

ロ. 翌年度に再履修しないで翌々年度以降に履修する場合は新履修とみなして制限科目数内で履修しなければならない。（休学の場合も同様）

ハ. 再履修の授業科目は、新履修の授業科目と同時に届出なければならない。

ニ. プロゼミⅠ（55年度以前の入学生）、プロゼミⅡ（52年度以前の入学生）の再履修については次のとおり。

「プロゼミⅠ」また「プロゼミⅡ」を再履修するものは、授業時間表の中から任意のクラスでそれぞれ履修すること。なお必修コード番号は授業時間表の〔注意〕欄を参照のこと。

ホ. 外国語・体育実技・保健体育理論および宗教学Ⅰを再履修する場合は、それぞれの「再履修クラス」（本校で授業を行う）で履修すること。ただし留年者で同級学年の科目を再履修する場合は正規クラスで履修すること。

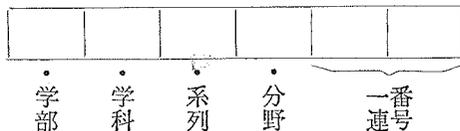
ヘ. 1年次生は再履修クラスを履修することはできない。

## ※コード番号について

### 1. 授業科目コードの設定方法

科目コードは6桁の数字とし、その各位の数字に次の意味を持たせている。

#### (a) 科目コードの区分



(b) 学部, 学科番号は「学生番号について」での説明のとおり

(c) 系列, 分野区分について

授業科目の区分	系列番号	分野番号
一般教育科目	0	
人文分野		1 (必修)・2 (選択)
社会分野		3
自然分野		4
基礎教育科目	1	5
外国語科目	2	
第1外国語		
第2外国語		
保健体育科目	4	
体育実技		1
保健体育理論		2
専門教育科目	5	
必修科目		1.2.3
選択科目		5.6.7.8
随意科目	7	
再履修科目	8	
課程・講座科目	9	
必修科目		1
選択科目		2
教科科目		3.4.5.6.7.8



## Ⅳ 履修科目の登録（履修届） とその作成順序

### 1. 履修科目の登録

毎学年次所属する学科，学年に開講されている授業科目の中から履修を希望する科目を授業時間表より選び，所定の「単位履修届」用紙に必要事項を記入し届出ることにより，通年（または半期）授業を受けることができる。

I) 各年次において履修できる最高授業科目数（制限科目数）は次表のとおりとする。

年 次	新履修科目数	再履修を含む科目数	課程・講座登録者 科目数
1 年 次	15	—	—
2 年 次	5 以上12以内	17 以 内	17 以 内
3 年 次	5 以上12以内	17 以 内	17 以 内
4 年 次	2 以上14以内	17 以 内	17 以 内

イ．随意科目は制限科目数の枠外とする。

ロ．半期科目も1科目とする。

### II) 登録上の注意

イ．履修届は指定された日時に必ず本人が記入捺印し，学生証提示の上提出すること。（提出しない場合は学業の意志のないものとして処理する。なお指定日時に提出できないものは事前に教務部窓口に相談すること）

ロ．履修届の日時，場所等についての詳細は原則として新年度成績発表前に教務部掲示板に発表する。

ハ．所属する学科以外の授業科目は登録できない。ただし課程・講座等資格取得のため必要な科目は課程・講座科目として登録できるが，その場合は教職係窓口で受講承認印を受けてから提出すること。

ニ．履修登録をしない授業科目はたとえ聴講，受験しても単位は与えない。

ホ．授業科目の追加登録は一切認めない。

ヘ．「単位履修届」用紙の注意事項をよく読み，間違いのないように登録すること。

## 2. 履修届記入上の注意

授業時間表(例)

月 曜 日				
	科目名	科目コード	担任	担任コード
一 時 限	ドイツ語1G	312201	百 済	879
	~~~~~			
二 時 限	保健体育理論(前)	314201	長 浜	993
	保健体育理論(後)	314201		622
	~~~~~			
三 時 限	宗 教 学 I	310101	平井(俊)	735
四 時 限	論 理 学	310203	国 嶋	429
	自然科学概論	310401	漆 原	121
	~~~~~			
五 時 限	体 育 実 技	314101	大石(武)	141
~~~~~				

正しい記入例

曜日	時 限	再 履	科目名	科目コード	担任	担任 コード	
月 (1)	1		ドイツ語1G	3 1 2 2 0 1	百 済	8 7 9	
	2		保健体育理論(前)	3 1 4 2 0 1	長 浜	9 9 3	
	3		宗 数 学 I	3 1 0 1 0 1	平井(俊)	7 3 5	
	4	○		論 理 学	3 1 0 2 0 3	国 嶋	4 2 9
	5			体 育 実 技	3 1 4 1 0 1	大石(武)	1 4 1

1. 楷書体で正確に記入すること。
2. 記入の際は、必ず黒または青インクを使用し、捺印の上提出すること。
3. 授業時間表のとおり記入すること。
4. 半期終了の科目は欄の中央に点線を入れ、上に前期終了科目・下に後期終了科目を記入すること。
5. 再履修科目がある場合は、再履欄に○印をつけること。
6. 履修届はコンピューターで処理しているため、下記の場合、登録が無効となるので注意すること。
  - イ. 科目名・科目コード・担任名・担任コードが一致しない場合
  - ロ. 時限を誤って記入した場合
  - ハ. 間違いやすい数字で記入した場合(例, 0と6・1と7)
  - ニ. その他, 不明瞭に記入した場合
7. 体育実技の記入方法は、時間表に載っている科目コード・担任コードを正しく記入すること。
8. 自己の責任において、必ず指定された日・時・場所に提出すること。
9. 履修届の本人控を正確に記入し、紛失しないように保管すること。

### 3. 履修届（時間割）の作成順序

履修要項・授業時間表により、各自がそれぞれの学年次の履修科目を決定する訳であるが、その場合必修科目、選択必修科目、選択科目の順序で決定すること。また、一般教育科目・外国語科目・保健体育科目および基礎教育科目は1・2年次で所定の単位を修得し、上級学年に進むに従い専門教育科目、課程・講座科目等を多く履修することが望ましい。

1年次生の場合、次表の順序で履修する科目を決定すると容易である。

順序	授業区分	授 業 科 目 (適用)	科目数
1	一般教育科目	宗教学Ⅰ (必修)	1
2	外国語科目	第1外国語, 第2外国語 (選択必修)	4
3	保健体育科目	保健体育理論(半期), 体育実技 (必修)	2
4	基礎教育科目	経済学概説, 経営学概説 (必修)	2
5	専門教育科目	簿記学 (必修)	1
6	一般教育科目	人文分野 } 社会分野 } 開講科目の中から4または5科目選択必修 自然分野 } (不足単位は2年次で履修)	5
	専門教育科目		
1年次履修制限科目数			15

## V 試験および成績評価

### 1. 定期試験

- イ. 前期で終了する授業科目の定期試験は7月に、後期および通年の授業科目の定期試験は1月ないし2月に実施される。
- ロ. 受験にあたっては、正規の手続きを経て登録した授業科目であること。
- ハ. 筆記試験のかわりにレポートの提出を課せられた場合は、主題、枚数、提出日時、提出先等をよく確認の上提出すること。なお、指定された日時に遅れた場合は一切受理しない。
- ニ. 試験時間割は、原則として平常の講義の時限とし、時間および教場等については掲示で発表する。  
(注) 試験場は平常の授業教場と異なる。特に集中試験(同一科目を一括して行う試験)は曜日、時限とも変わるので試験時間および教場割等掲示に充分注意すること。

### 2. 中間試験

授業科目によって担任者が独自に行う試験(レポート提出を含む)のことをいう。従って試験は平常の授業に準じて行う。

### 3. 追・再試験

#### I 追試験

- イ. 追試験は、やむを得ない事由があり定期試験(レポート提出を含む)を欠試した場合受験することができる。その場合、欠試者は所定の欠試届にその事由を記し、自分の全ての試験終了後ただちに届け出ること。(締切日は掲示板参照)
- ロ. 追試験料は徴収しない。

#### II 再試験

- 1・2・3年次生については、再試験は一切実施しない。  
卒業年次生に限り下記により実施する。
- イ. 卒業年次に履修登録した科目の定期試験を受験し、不合格となった科目は願い出により受験することができる。
- ロ. 受験料は1科目500円とする。

#### III 体育・外国語科目・その他

- イ. 体育実技・演習・プロゼミは追・再試験ともこれを行わない。

ロ. 外国語科目についても追・再試験を行わない。ただし、定期試験を欠試した者は当該科目試験終了後一週間以内に担任教員に申し出て指導を受ける。

#### 4. 成績評価・単位認定

- イ. 定期試験の成績は、優（100点～80点）・良（79点～70点）・可（69点～60点）および不可（59点～0点）とし可以上を合格、不可は不合格とする。
- ロ. 所定の授業時間数の3分の2以上授業に出席し、合格の成績評価を得た授業科目については所定の単位を認定する。
- ハ. 追試験の成績評価は定期試験に準ずる。
- ニ. 再試験（4年次生のみ）の成績評価は70点以下とする。

#### 5. 進級基準

##### ◎正規進級

上級学年に進級する場合は下記の単位数の取得を要する。

- イ. 1年次から2年次に進級する場合、卒業所要単位のうち30単位以上。
- ロ. 2年次から3年次に進級する場合、卒業所要単位のうち60単位以上。
- ハ. 3年次から4年次に進級する場合、卒業所要単位のうち90単位以上。  
ただし、90単位以上の者でも、一般教育科目・保健体育科目・外国語科目の必要単位数を全て取得していること。

##### ◎注意進級

正規の進級基準には達しないが教育的配慮から進級を認める。ただし注意進級が、再度つづく場合には、取得単位の不足から4年間で卒業することが困難となるので、今後十分に自戒して所定の単位数を取得するよう努めることが必要である。

- イ. 1年次から2年次に注意進級する場合、卒業所要単位のうち29～20単位までとする。
- ロ. 2年次から3年次に注意進級する場合、卒業所要単位のうち59～50単位までとする。
- ハ. 3年次から4年次に注意進級する場合、卒業所要単位のうち90単位以上を取得するも、その内一般教育科目・保健体育科目・外国語科目の不合格単位数の合計が16単位までとする。ただし17単位以上は留年とする。

#### 6. 受験者心得

- イ. 指定された試験場（教場）で受験すること。
- ロ. 学生証を所持しない学生は、いかなる理由があっても受験できない。また、学生証は監督者が見やすいように通路側に提示しておくこと。
- ハ. 試験開始より30分以上遅刻した者は受験できない。また開始後30分を経過するまで退場できない。

ニ. 答案の作成はペン書き（ボールペン可）を原則とする。とくに、学部・学科・学年・番号・氏名は必ずペン書きにし、解答にかかる前に記入すること。

ホ. 次の場合は退場を命じ、その答案を無効とする。

- (1) 私語や態度の不正なもので注意しても改めないとき
- (2) 許可なく物品・教科書・ノート類を貸借したとき
- (3) 監督者の指示に従わないとき

ヘ. 次の場合には、その答案を無効とする。

- (1) 無記名のもの
- (2) 配布された答案用紙以外のものを用いたとき
- (3) 指定された場所に提出しないとき

ト. 答案用紙は指定の枚数だけ配布し、原則として書き損じても再交付しない。

チ. 受験中に不正行為があつて、当該教授会が不正行為と認定したときは、学則第57条により懲戒する。

なお、懲戒は全学に公示する。

リ. 以上のほか、試験場内の秩序維持はすべて監督者の指示による。

## Ⅵ クラス制およびクラス主任

イ. 1・2年次は学科毎にクラス制をとっている。

ロ. クラスはクラス主任（教員）が1名ずつおり、学生の学習指導、生活相談等に当たっているから、これらのことについては遠慮なく相談されたい。

## Ⅶ 教職課程・資格講座

経営学部で開講されている資格取得の課程・講座は、教職課程、学校図書館司書教諭講座、社会福祉主事講座および社会教育主事講座である。（ただし、社会福祉主事講座は59年度以降の入学生より適用。）

教職課程は、教員資格取得のためのもので、本学において教職課程の所定単位を修得したものは、中学校1級・高等学校2級の各普通免許状が取得できる。

学校図書館司書教諭、社会福祉主事および社会教育主事の各講座は、学校教育を充実することを目的とする学校図書館、社会福祉を増進させるための機関等、および青少年に対して行われる組織的な教育活動である教育施設の各専門職員となる有資格者を養成するために設けられている。

教職課程・資格講座の履修希望者は、1年次の秋（11月中旬）に実施するガイダンスに出席し、教職課程・資格講座の「履修要項」および「課程・講座受講登録カード」を受け取ること。（授業科目の講義内容は当該履修要項の講義内容を参照すること）

なお、ガイダンスの日時等については、実施1カ月前より掲示板で、その旨指示する。

○開講されている課程・講座

課程・講座名		備考
教職課程	2年次より	
学校図書館司書教諭講座	〃	
社会福祉主事講座	〃	59年度入学生より適用
社会教育主事講座	〃	

## VIII 事務取り扱いについて

### 1. 成績発表・成績証明書について

- イ. 前期終了科目・後期および通年授業科目の定期試験の結果は書類で発表する。
- ロ. 成績の質疑については成績発表後5日以内に教務部⑨番窓口にて相談すること。ただし評価の質疑については直接担任教員に申し出て相談すること。
- ハ. 成績証明書は卒業年度生以外は原則として発行しない。
- ニ. 成績発表を受けるときは必ず学生証を持参すること。

### 2. 授業時間について

授業時間は、次表のとおりである。

時 限	第1時限	第2時限	第3時限	第4時限	第5時限
時 間	9:00～ 10:30	10:40～ 12:10	12:50～ 14:20	14:30～ 16:00	16:10～ 17:40

### 3. 事務室の事務受付時間について

- イ. 事務室の事務受付時間は、9時より16時30分（土曜日は12時）までとする。ただし、昼食休憩時間は12時から13時とし、この時間は事務受付を休止する。
- ロ. 履修届提出・成績発表・各申込等の受付は9時30分より16時までとする。

### 4. 休講について

- イ. 休講は担任教員より連絡あり次第、休講掲示板（教務部事務室前ロビー）に掲示する。したがって、教場の黒板に書いて休講の連絡はしない。始業時間より30分以上経過しても連絡のない場合は、教務部⑦番窓口で申し出てその指示を受けること。
- ロ. 運輸機関のストライキによる休講措置については午前7時現在、国電（山手、中央、京浜東北）もしくは東急がストを行っている場合の授業は全面休講とする。

### 5. 掲示について

学生に対する公示・告示および学習上周知を要する事項は、すべて掲示板に発表するので、登校・下校の際は、必ず掲示板を見ること。また、学生個人に対する伝達事項も、掲示または、郵便・電話で連絡するので遅滞なくその指示に従うこと。

### 6. 問い合わせ

事務室への電話による質問（行事予定、休講、授業、学籍、試験、成績、その他）は、間違いを生じやすく事務に支障も生ずるので一切応じない。必要あるときは、必ず登校のうえ、掲示板を見るか、関係事務室窓口で問い合わせること。

## Ⅸ 届書・願書について

(教務部扱いのもの)

種 類		要 領	必 要 書 類	本人印	保証人印	取扱窓口
届 書	単 位 履 修 届	年度初頭の指定する期日に、各年度に修得しようとする授業科目(単位)を必ず届け出ること。	所定用紙あり	要	不要	掲示
	欠 試 届	やむを得ない事情で欠試した時は届出用紙に理由を書き、本人履修全科目の試験終了後ただちに届け出ること。(締切日は掲示参照)	所定用紙あり	不要	不要	⑨
	卒業論文論題届 (仏教・文学部のみ)	各学部掲示板にて指示するので、指定期間内に指導教授の承認印を受け、届け出ること。	所定用紙あり	要	不要	⑥
	改 氏 名 届	変更後1週間以内に届け出ること。	所定用紙あり戸籍抄本1通添付	要	不要	⑤
	本籍地変更届	変更後1週間以内に届け出ること。	所定用紙あり戸籍抄本1通添付	要	不要	⑤
	保証人変更届	変更後1週間以内に届け出ること。	所定用紙あり在学誓書(保証書)添付	要	要	⑤
	保証人住所変更届	変更後1週間以内に届け出ること。	所定用紙あり	要	不要	⑤
	死 亡 届		所定用紙あり死亡診断書添付	/	要	⑤
願 書	休 学 願	病気その他の理由で引き続き2か月以上修学することができない場合は、保証人連署の上願い出て休学の許可を得なければならない。	所定用紙あり傷害・疾病による場合は医師の診断書添付	要	要	⑤
	復 学 願	休学した者が復学する場合は、毎学年の始め、保証人連署の上願い出て許可を得なければならない。「復学願」の提出は4月7日までとする。	所定用紙あり傷害・疾病による休学をした場合は医師の通学可能である証明書添付	要	要	⑤
	退 学 願	傷病その他やむを得ない理由で退学する場合はその理由を付し、保証人連署をもって願い出て許可を得なければならない。	所定用紙あり学生証添付	要	要	⑤
	転部(科)・転学願	事前に教務部に相談すること。	所定用紙あり(転学はなし)	要	要	⑦

## X 各種証明書取扱い窓口

証 明 書 名	取 扱 窓 口	科 金
成 績 証 明 書	教務部④番	一 通 100円 (英文証明書) 一 通 300円)
卒 業 (見 込) 証 明 書		
学 士 証 明 書		
教 員 免 許 状 取 得 見 込 証 明 書		
単 位 修 得 証 明 書 (教職, 司書教諭, 学芸員, 社会教育, 社会福祉)		
一 般 教 養 科 目 修 了 (見 込) 証 明 書		
在 籍 証 明 書 (中途退学者に限る)	教務部⑤番	
人 物 考 査 書	就 職 部	
健 康 診 断 証 明 書	学 生 部 ③ 番	
在 学 証 明 書	学 生 部 ② 番	
学 割		無 料
通 学 証 明 書		無 料

※ 経理部前備付けの申込用紙に必要事項を記入し、手数料分の証紙を貼付（郵送料は現金で経理部窓口に納入）の上、取扱い窓口に申し込むこと。

発行は原則として3日後。ただし教務部取扱い証明書は、6月下旬より10月中旬と3月は大変混雑が予想されるので、掲示に注意し、充分余裕をもって申し込むこと。

## 講 義 内 容 目 次

一般教育科目(共通).....	(27)
保健体育科目(共通).....	(33)
随 意 科 目 ( 共 通 ).....	(36)
基 礎 教 育 科 目.....	(38)
専 門 教 育 科 目.....	(39)
教職および資格講座.....	(49)



## 一般教育科目

### 人文分野

宗教学Ⅰ(佐藤 達玄) .....	29
宗教学Ⅰ(石川 力山) .....	29
宗教学Ⅰ(伊藤 隆寿) .....	29
宗教学Ⅰ(山内 舜雄) .....	29
宗教学Ⅰ(再クラス)(岡部 和雄) .....	29
宗教学Ⅰ(再クラス)(奈良 康明) .....	29
宗教学Ⅱ(中野 東禅) .....	29
宗教学Ⅱ(椎名 宏雄) .....	30
宗教学Ⅱ(石井 修道) .....	30
宗教学Ⅱ(光地 英学) .....	30
哲学(久保 陽一) .....	30
論理学(小宮山 隆) .....	30
倫理学(国嶋 一則) .....	30
文学(新井 章) .....	31
文学(野中 雅行) .....	31
歴史学(茂沢 方尚) .....	31

### 社会分野

法学憲法(関口 雅夫) .....	31
社会学(岩上 真珠) .....	31
地理学(中島 義一) .....	31
統計学(後藤儀一郎) .....	31
文化人類学(佐々木宏幹) .....	31
文化人類学(村武 慶) .....	32

### 自然分野

自然科学概論( ) .....	32
数学(福田 賢一) .....	32
心理学(大塚 秀治) .....	32
心理学(鈴木 順一) .....	32

## 保健体育科目(共通)

体育実技 .....	33
------------	----

## 随意科目

比較思想特講(窪 徳忠) .....	36
ドイツ語F(栗原 万修) .....	36
ドイツ語FLL(初級)(小林佳世子) .....	36
ドイツ語FLL(中級)(松本 洋子) .....	36
フランス語F(小玉 齊夫) .....	36
フランス語FLL(初級)(松岡 宏一) .....	36
フランス語FLL(初級) (マドレーヌ・マルタン) .....	36

フランス語FLL(中級) (マドレーヌ・マルタン) .....	37
中国語F(刈間 文俊) .....	37
中国語FLL(初級)(果 荃 英) .....	37
中国語FLL(中級)(羅 漾 明) .....	37
スペイン語F(佐藤玖美子) .....	37
スペイン語FLL(初級)(ホワン・ナバロ) .....	37
スペイン語FLL(中級)(ホワン・ナバロ) .....	37
ロシア語F(岡沢 宏) .....	37
ロシア語FLL(初級) (タチャーナ・バリソヴナ・野村) .....	37
ロシア語FLL(中級) (タチャーナ・バリソヴナ・野村) .....	37
日本語F(初級)(留学生対象)(杉山秀子) .....	38
日本語F(中級)(留学生対象)(大塚純子) .....	38

## 基礎教育科目

経済学概説(中村雄次郎) .....	38
経営学概説(小野寺孝一) .....	38

## 専門教育科目

簿記学(近藤 禎夫) .....	39
簿記学(中平 栄一) .....	39
簿記学(渡辺恵一郎) .....	39
簿記学(片桐 伸夫) .....	39
簿記学(木下 照嶽) .....	39
簿記学(東海 幹夫) .....	39
プロゼミⅠ(経営コース)(宮城 徹) .....	39
プロゼミⅠ(経営コース)(山田 勝) .....	40
プロゼミⅠ(会計コース)(近藤 禎夫) .....	40
プロゼミⅠ(会計コース)(渡辺恵一郎) .....	40
プロゼミⅠ(経済コース)(内藤 二郎) .....	40
プロゼミⅠ(経済コース)(羽鳥 茂) .....	40
経営学(北村健之助) .....	40
会计学(長松 秀志) .....	40
経営史(前田 和利) .....	40
近代経済学(滝田 公一) .....	41
経営管理論(鈴木 幸毅) .....	41
原価計算論(近藤 禎夫) .....	41
企業形態論(渡辺 行男) .....	41
統計原論(後藤儀一郎) .....	41
日本経済史(内藤 二郎) .....	41
民法Ⅰ(鶴井 俊吉) .....	41
プログラミング論(清水 忠良) .....	41
プログラミング論(山崎 和海) .....	42
プロゼミⅡ(経営コース)(鈴木 幸毅) .....	42

プロゼミⅡ(経営コース)(武田 康).....	42
プロゼミⅡ(会計コース)(久松 治夫).....	42
プロゼミⅡ(会計コース)(片桐 伸夫).....	42
プロゼミⅡ(経済コース)(内藤 二郎).....	42
プロゼミⅡ(経済コース)(滝田 公一).....	43
商 法 I(今井 薫).....	43
外書講読(英)(石名坂邦昭).....	43
外書講読(英)(高田 光明).....	43
外書講読(英)(平山 健二).....	43
外書講読(独)(百済 勇).....	43
外書講読(仏)(中村雄次郎).....	43
外書講読(中)(松本 丁俊).....	43
外書講読(ス)(細川 幸夫).....	44
経営学史(北村健之助).....	44
アメリカ経営学(宮城 徹).....	44
経営労務論(掛谷力太郎).....	44
経営財務論(高田 光明).....	44
管理会計論(長松 秀志).....	44
経営組織論(平山 健二).....	45
経営技術論(小野寺孝一).....	45
保険経営論(石名坂邦昭).....	45
公益企業論(石井彰次郎).....	45
日本経済論(羽鳥 茂).....	45
経済政策(西山 司).....	45
金融論(石野 典).....	45
上級簿記(渡辺恵一郎).....	46
経営統計(後藤儀一郎).....	46
経営分析論(片桐 伸夫).....	46
経営情報論(加藤 武信).....	46
民法Ⅱ(青野 博之).....	46
財政学(山口 忠夫).....	46
国際経済論(永田 智則).....	46
貿易経営論(武田 康).....	47
会計監査論(中平 栄一).....	47
税務会計論(鈴木 明男).....	47
証券市場論(柿崎 暎次).....	47
日本経営史(斎藤 憲).....	47
銀行経営論(近沢 敏里).....	47
国際金融論(池田 健).....	48
マーケティング論(武田 康).....	48
財務会計論(久松 治夫).....	48
商業史(山田 勝).....	48
商業経営論(森宮 勝子).....	48
商 法Ⅱ(荒木 正孝).....	48
労働法(掛谷力太郎).....	48

# 一般教育科目

## 人文分野

### 宗教学 I

佐藤達玄

人間社会における宗教の役割や、文化一般との関係を広い視野の下に考察し、東洋社会における諸宗教を通覧する。

〔教科書〕『宗教学ハンドブック』（世界書院）

### 宗教学 I

石川力山

前期は、宗教とは何かという問題を中心に、機能論、文化論の立場から考察し、さらに個人と宗教、社会と宗教、国家と宗教の問題についても言及したい。また世界各国の民族宗教（ユダヤ教、ヒンズー教、道教、神道）について概説し、生活と宗教、民俗と宗教についてもあわせて考えてみたい。

後期は、世界宗教（Univesal Religion）と呼ばれるキリスト教、イスラム教、仏教のそれぞれについて概観し、日本人の宗教観、現代と宗教・政治と宗教学の諸問題にも触れてみるつもりである。

〔教科書〕駒沢大学仏教学研究室編『宗教学 I』（更生社刊）

〔参考書〕水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』（世界書院刊）

### 宗教学 I

伊藤隆寿

人間と宗教とのかかわりを発端として、宗教の諸相（個人と宗教・社会と宗教・宗教のはたらき）及び宗教の歴史を概観し、最後に仏教の特質について述べる。

〔教科書〕山内舜雄編『宗教学 I』（更生社）

¥ 1,950

〔参考書〕岸本英夫著『宗教学』（大明堂）

### 宗教学 I

山内舜雄

宗教学 I を使用し、宗教一般の解説から、日本人の宗教意識等、できるだけ日常生活に密着して宗教の社会的な存在意義を明瞭ならしむると共に、仏教の基本的な教理や実践法に及ぶ。

〔教科書〕『宗教学 I』

### 宗教学 I（再クラス）

岡部和雄

前半で宗教とは何かという問題を現代とのつながりの中で具体的に考えていく。後半では仏教的をしほり、その基本的輪郭を呈示したい。

〔参考書〕『宗教学ハンドブック』（世界書院）

脇本平也『宗教を語る—入門宗教学—』（日新出版）

### 宗教学 I（再クラス）

奈良康明

人間生活における宗教、仏教の意味と機能、構造をあまりにきらかにしてゆきたい。出来るうかぎり、現代の私たちの生活とのかかわりの中で諸テーマを考える。

〔教科書〕『宗教学ハンドブック』（世界書院）

### 宗教学 II

中野東禅

人生とは何か。一言でいったら「えらぶこと」と「えらべないこと」である。えらぶことは心に所属し、えらべないことは命に所属する。この二つは現代社会でますますわからなくなって来ている。心の構造を真理との出会いという場で明らかにしたら、人間というもののもっとわかるにちがいない。また生命科学などのもたらすのものの混乱に対して人間を明析に見つめ直す必要がある。

そこで「人間とは何か」という存在の根源に対する答

えとして“禅仏教”を学ぶ。その答えを自己のものにするのが禅の実践体系であり、豊かな文化である。生き方学・人間学として禅のもつ機能を明らかにしたい。

〔教科書〕 山内舜雄編『宗教学Ⅱ』（更生社）

¥ 1,950

## 宗 教 学 Ⅱ

椎 名 宏 雄

宗教学Ⅰで学んだ基礎の上に立ち、仏教思想の中でもさまざまな特長をもつ禅についての総合的理解を目指す。

講義はノート筆記と解説を主とし、1. 仏教と禅、2. 禅の歴史、3. 禅の实践、4. 禅の思想、5. 禅と文化、6. 禅と経営、の順に進めるが、随時に関連したテーマをとりあげ、現実の問題として学生諸君とともに考えてゆきたい。

〔参考書〕 鎌田茂雄『現代人の仏教』（月刊ペン社）

## 宗 教 学 Ⅱ

石 井 修 道

駒沢大学で行なわれている宗教学Ⅱとは、宗教学とは何か、仏教とは何かを学んだ宗教学Ⅰの後を承けて、禅とは何かについて具体的に学ぶ科目である。インドからやって来たダルマを開祖とする禅は、何よりも実践を重んじているので、第一はその思想が生まれてくる背景は何かをまず学びたい。次にダルマ以降に発展する禅では、自己への問いかけを最重要課題とするので、第二は禅でいう自己とは何かを問題にして行きたい。第三は禅の歴史の上にあられる個性的な禅者を通して、禅が何をめざしているかを考えたい。

〔教科書〕 山内舜雄編『宗教学Ⅱ』（更生社）

¥ 1,950

## 宗 教 学 Ⅱ

光 地 英 学

(1) 仏教に於ける禅の位置 (2) 禅の意義 (3) 坐禅の仕方 (4) 禅の伝承 (5) 曹洞禅 (6) 禅の信仰と人生

〔教科書〕 光地教授『禅の講義』（大学販売店にて）

## 哲 学

久 保 陽 一

人間は生れつき、知識の営みをするように定められている。人間のもつどんな知識でも思想を表わし、人間はその思想によって生きている。しかしわれわれの日常生活では、自分がどのような思想によって生きているのかわからない。それは、伝統的思想に支配されているからである。われわれが「よりよく生きる」ことを願うならば、一定の目標を定めなければならず、そのためには自覚した思想をもたなければならない。哲学は、古代から現代に至るまでの自覚された思想を研究し、さらにそれを自らの生きるための思想とするものである。また大学における学問研究の基礎知識にも努める。

〔教科書〕 『哲学思想の歴史』（公論社）

## 論 理 学

小 宮 山 隆

論理学は、正しく思考するためには「いかに思考すべきか」を教える科学である。ここでいう思考は、推理という型の思考である。われわれは、学問する場合はむろんのこと日常生活においても、たえず思考しているが、必ずしも正しく思考しているとはかぎらない。したがって、論理学によって正しく思考するための法則を学ばなければならない。さらに、現代の科学技術や電算機の基礎になっている論理法則の理解や習得をする。

〔教科書・参考書〕 その都度指示する。

## 倫 理 学

国 嶋 一 則

倫理学は、われわれがいかに生き、何を行為すべきかを探究する学問である。つまり、人間の行為に関する哲学である。人間として正しい行為とか、真実の行為とか、理性的行為といわれるものは、人生の原理（人生観）や世界の原理（世界観）に従った行為である。日常の人生観や世界観は、動揺して確実なものではないから、古代から現代にいたる主な哲学者たちの思想を研究して、各自の確実な人生観や世界観の獲得に努める。

〔教科書・参考書〕 その都度指示する。

## 文 学

新 井 章

日本の詩歌の歴史を概括的に把握する。上代・中世・近世・近代現代の時代に分けて考察し、新しい詩歌の方向をさぐる。特に近代現代に重点をおく。

〔教科書〕 『松井芒人論』（教育出版センター）

¥ 1,800

〔参考書〕 『日本韻文史』（桜風社） ¥ 1,800

## 文 学

野 中 雅 行

「文学的精神の考察」……事例として森鷗外・谷崎潤一郎・川端康成らの作品を読みすすめ、必要に応じて仏教学・心理学・歴史学・国語学等の非文学的分野からの検討を加え、その文学的特性を析出させてみる。「文学」一般の特性にも考察をすすめる。

〔教科書〕 各種文庫本を用いる予定であるが、詳細は教場で指示する。

## 歴 史 学

茂 沢 方 尚

中国古代の北方民族を問題にしつつ、歴史学の基礎的且つ一般的諸問題について解説を行い度い。教科書はなく、授業の折りに参考書を適宜紹介する。

## 社会分野

### 法 学 憲 法

関 口 雅 夫

本講義の対象は、「法学」並びに「憲法」の二部門よりなる。

「法学」の部門においては、法の内容、法と他の社会規範、法の成立と発展、法存在の基礎、法の目的、法源、法の種類、法の効力、法の解釈と適用、法律関係などの法一般理論を論述する。

「憲法」の部門においては、憲法の意義、日本国憲法の成立、基本原理、天皇、国民の権利義務、国会、内閣

、司法、財政、地方自治などの、憲法の一般理論を論述する。

本講義は、平易を旨とし、各部門についての基礎知識の修得を目的とする。

〔教科書〕 関口雅夫・西 修編著『法学憲法』（方南書林）

### 社 会 学

岩 上 真 珠

われわれがとっている行動は、選択と決定の絶えざる繰り返しである。われわれは、何故ある場面ではある行動を、また別の場面では別の行動をとるのだろうか。講義では、多くの他者とかかわり合いながら展開される人間行動のメカニズムを、制度、集団、組織、関係といった視点から考察する。

〔参考書〕 『バーガー社会学』（学習研究社）

¥ 2,600

### 地 理 学

中 島 義 一

地理学の諸分野の内、歴史地理学上の諸問題に重点において講義する。下記教科書のほか地図帳（高校生の時に使用したものでよい）を忘れずに持ってくることを。

〔教科書〕 矢守一彦『空からみた歴史景観』（大明堂）

¥ 2,000

### 統 計 学

後 藤 儀 一 郎

統計学は経営学や経済学は言うにおよばず、医学、社会学、自然科学などの各方面で広く用いられている。およそ実証研究しようとするとき、統計学の知識なしにできる場合というものは少ない。

統計学とは何か、統計学的考え方とはどのようなものかについて、学習する。

〔教科書〕 『現代統計解析』（芦書房） ¥ 2,700

### 文 化 人 類 学

佐 々 木 宏 幹

文化人類学の学史を解説し、その研究諸領域をめぐって重要な問題を取りあげ検討する。とくに東南アジアの華人社会に焦点をおいて展開したい。テキストは講義の進行状況に応じて紹介する。

## 文化人類学

村 武 慶

私達は、ややもすると、自分達の生活様式、家族・親族の形態、自分達の宗教を最高のものと思いがちであるが、必ずしもそうではないことを、いろいろな社会を比較して学んでいきたい。また、私達日本人の家族・親族組織、物の考え方などについても、ながめてみたい。

〔教科書〕 蒲生正男・山田隆治・村武精一編『文化人類学を学ぶ』（有斐閣選書）

〔参考書〕 蒲生正男・祖父江孝男編『文化人類学』（有斐閣双書）

## 自然分野

### 自然科学概論

開講時に指示する。

## 数 学

福 田 賢 一

本年度の講義内容は次の通りである。

1. 論理, 2. 線形代数, 3. 微積分, 4. 確率・統計。

また時間の許す限り、上記の内容の応用として、社会現象の数学的分析についても話す。

予備知識は高校初年程度で十分である。教科書は特に使用しないので、各自ノートをしっかり採る事が必要である。参考文献は必要に応じ、指示する。

## 心 理 学

大 塚 秀 治

心理学は人間の“こころ”と“行動”をその研究対象とした科学である。ここでは心理学の基礎的な問題を学び心理学的な研究方法、考え方を身につける。また、時間が許せば簡単な実験を行ない、実際の場面で理解を深める。

〔教科書〕 『心理学概説』（八千代出版）

〔参考書〕 『新心理学』（八千代出版）

## 心 理 学

鈴 木 順 一

認知・学習・思考・情動・人格・発達・社会などの分野に渡り心理学の基礎的な知識について講義する。

特に、自己の性格を探究し開発する手掛りとなるパーソナリティ理論やカウンセリング理論について詳説したい。

〔教科書〕 『心理学概説』（八千代出版）¥ 1,400

# 保健体育科目（共通）

## 実技種目の概要及び指導教員名

### 一年次生種目〈玉川校舎〉

#### 室内球技（玉川体育館）

牧野 茂・光永 吉輝  
田中 佳孝・村松 誠  
秋田 浩一・久保田洋一  
竹田 幸夫

バレーボール、バスケットの基礎技術の習得とともに、ゲームにより、その競技を理解する。

服装：一般的運動服装，上履用シューズ

#### 体操（玉川体育館）

三幣 晴三・竹田 幸夫

マット、鉄棒などを中心に、初心者を対象とした遊戯的内容から出発し、段階的に技を習得する。

服装：一般的運動服装，体操シューズが望ましい。

#### トレーニング（玉川体育館）

高橋 俊介・秋田 浩一  
武藤 幸政・高森 秀蔵

個人の体力差に応じたトレーニングプランを作成し、主に最新のトレーニング器械を使用した体力トレーニングを行う。このトレーニングの目的は体力の増進、内臓器官の強化である。

服装：一般的運動服装，上履用シューズ

#### 柔道（玉川体育館）

光 永 吉 輝

初心者を対象として基本技能（受け身）、応用技能（投げの形）（固の形）等の練習を行う。服装は原則として柔道衣。

#### 剣道（玉川体育館）

上 山 智 身

剣禅一致の精神に基き、初心者を対象として次の順序で実施する。

1. 基本動作
2. わざ
3. 懸り稽古，互格稽古
4. 試合稽古

服装・試験については最初の授業において説明する。

#### 空手道（玉川体育館）

大石 武士・高橋 俊介

拳禅一致の精神に基き、初心者を対象として下記の順序で実施する。

1. 基本技（空気を相手に，受，突，打，蹴技の反復練習）
2. 形（基本の受，突，打，蹴を合理的に構成したものを空気を相手に行う）
3. 護身術
4. 約束基本組手（基本技で取得した，受，突，打，蹴技を実際に相手をおいて行う簡単な約束した組手）

服装は原則として空手道衣着用のこと。

#### 相撲（玉川体育館）

館 岡 儀 秋

基本技（攻の型・守りの型）の練習を主に、併せて応用技の習得を行い、心・技・体三則の本義を理解させる様指導する。

土俵マットを使用する。服装は海水パンツ等の上に相撲パンツを着用する。

### 陸上競技（玉川グラウンド）

森 本 葵

駒大式四種競技（100米，長距離，砲丸投，走高跳）を行い，得点制とする。

服装はランニングパンツが望ましいが，普通のトレパンでも可。なお，スパイクの着用は原則として認めない。

### ソフト・ボール（玉川グラウンド）

太田 誠・館岡 儀秋  
高森 秀蔵

基本技能を中心として毎時間ゲームを行う。服装はトレシャツ，トレパン。グラブ，ミットは貸与する。

### サッカー（玉川グラウンド）

原山 良勁・田中 佳孝  
秋田 浩一

基本技術を中心として練習し，毎時間ゲームを行う。服装はショートパンツと厚い靴下を着用すること。

### ハンド・ボール（玉川グラウンド）

村 松 誠

パス，シュート等基本技術を中心にゲームを行う。服装は，トレシャツ，トレパン，運動靴を用意すること。

### テニス（玉川グラウンド）

牧野 茂・田中 佳孝  
浅野 鉦世・関本美津子

ゲーム（ダブルス）中心の授業を行う。服装は，一般的な運動服装（白のトレーニングパンツまたは短パンツが望ましい）とするが，靴はテニスシューズを用意すること。

### 卓球（玉川校舎）

宮沢 栄作・村松 誠  
秋田 浩一・関本美津子

ゲーム（シングル，ダブルス）中心の授業を行う。服装は体育時のもので良い。室内履シューズを用意すること。ラケットは貸与する。

### 太極拳（玉川体育館）

大 石 武 士

太極拳の基本的な動きを習得し，精神・身体の健康を増進する。服装その他の注意は第一時限目に説明する。

### ゴルフ（玉川グラウンド）

三 幣 晴 三

ゴルフスイングの基礎技術の習得とともに，ゴルフで最も肝要とされるルールとマナーの基本的理解により，正しいゴルフの精神を身につける。服装は一般的運動服装とする。

## 実 技 教 場 案 内

玉川体育館・グラウンド・校舎：

世田谷区宇奈根 1-1-1（学生手帳を参照）

TEL (709) 0717

## 再履修生種目〈本校〉

### 室内球技（本校体育館）

長 浜 友 雄・原 山 良 勁

基礎技術の習得とに併せて，ゲームにより，その競技

を理解する。(バレーボール, バスケットボール, その他)

服装：一般的運動服装, 上履用運動靴。

空手道 (本校第二体育館)

大石 武士

拳禪一致の精神に基づき, 初心者を対象として実施する。服装は原則として空手道衣着用のこと。

剣道 (本校第二体育館)

上山 智身

剣禪一致の精神に基づき, 初心者を対象として実施する。服装・試験については最初の授業において説明する。

## 実技教場案内

- (1) 本校体育館：本学内, 男子更衣は三階東側のスタンド (ステージに向い左側)。女子は三階西側の更衣室 (ステージに向い右側)。  
TEL (418) 9517・9213
- (2) 本校第二体育館：本学内, 相撲道場の隣, 一階は柔道場, 二階は剣道・空手道場。更衣室は各階にある。  
TEL (418) 9201

# 随 意 科 目

## 比較思想特講

窪 徳 忠

中国人のあいだから成立した道教の性格と内容とを紹介したのち、12世紀中葉に組織された全真教や真大道教と仏教との異同について考えてみたい。できれば、道教思想と日本の修験道の思想とを比較したいと思っている。

〔教科書〕 使用せず、ノートによって行なう

〔参考書〕 窪 徳忠『道教史』(山川出版社)

¥ 1,900

同 『中国文化と南島』(第一書房)

¥ 2,500

## ドイツ語 F

栗 原 万 修

ドイツ民話と日本民話(独文)を読みくらべ、比較文学的、あるいは心理学的な比較なども一緒に考えてみたい。できるだけ読みやすいものを選び、テキストはその都度配布する(無料)。

## ドイツ語 FLL (初級)

小 林 佳 世 子

意志疎通の基本的な条件である聴き取り能力を養うために、音声としてのドイツ語に重点をおく。テープやビデオを用いて、現代の生きたドイツ語に触れ、正しい発音、基本的な文型や語彙を身につけ、やさしい日常会話ができるようにしたい。

## ドイツ語 FLL (中級)

松 本 洋 子

一年次のドイツ語(1G, 1R)を終えた者を対象に、ビデオテープなどを用いて、一年次ですでに修得した基本的な文型・語彙が自在に会話などに活かせるようにしていきたい。

## フランス語 F

小 玉 齊 夫

「フランスの地理・歴史・文化」

ことばの背景をつくりあげている、さまざまな風俗・習慣を浅く広く、ということにはなるでしょうが、視聴覚の教材をも用いながら、なるべく多角的に、随時、基礎的な知識の再構成をはかりつつ、迫りなおし、ことばの習得への根柢を、あらためて、整備・形成していきたいと思います。

〔教科書・参考書〕 適宜指示します

## フランス語 FLL (初級)

松 岡 宏 一

学生諸君にLLを受講すると同時に他のフランス語正科を何かひとつ聞いていただくことをお願いいたします。テキストは昨年同様 HACHETT 社の「LE FRANÇAIS ET LA VIE」を使います。(ただし使うページを重複しないように注意いたします)。音はテープを使用、教室は新装のLL教室を使います。

ともかく、会話というものは、ただ、だまって聞いていれば自分は何一つしゃべらなくとも上達するものだと考えているらしい学生諸君の思いちがいを矯正、聞きとりの訓練と、貝のように閉じられた口を開かせるために努力したい考えです。

学生諸君は教師にいびられているとは思わず、やさしくソゴカレているのだとお考え下さい。

〔教科書〕 LE FRANÇAIS ET LA VIE

## フランス語 FLL (初級)

マドレーヌ・マルタン

フランスの視聴覚教材「Vive Voix」による実用フランス語会話入門。絵を使って単語の組合せ練習。さらに様々のシチュエーションに応じた表現方法に慣れさせ日常会話の基礎を養成する。テキストは教室で配布。

〔教科書〕 Vive Voix

## フランス語 F L L (中級)

マドレーヌ・マルタン

初級クラスと同じ方法で、原則的には同テキストの7課または8課から始める。(履修学生の語学力によって多少の変更あり) 初級よりより一般的な会話を目的とする。

## 中国語 F

刈間文俊

主として2年次まで中国語を学んだものを対象とし、近年の文学作品をひろい読みする。1979年以降にわかに活発化した文壇から、世代やジャンルを越えて短編小説や詩などを選び、文学表現の面から中国語にどのような変化が起きつつあるかを考える一助としたい。巴金、王安憶、舒婷などの作品を読む。

〔教科書〕 開講時に教場で指示し、配布します

## 中国語 F L L (初級)

果 荃 英

中国語初級を終えたものを主たる対象とし、正確な発音をマスターし、やさしい中国語の会話を習得することを目的とする。視聴覚教材を使用して楽しく授業を進めたいと思う。

〔教科書〕 プリントを配布する

## 中国語 F L L (中級)

羅 漾 明

この授業は中国語初級 F L L で勉強した人及び2年間中国語を勉強した人又は同等学力を持っている人を対象とします。

会話を主として、中国映画などを補助教材として随時に使用します。

〔教科書〕 教室で指示します

## スペイン語 F

佐藤 玖美子

この授業は、1・2年で習得した知識を更に発展、深化させることを目指すものです。特に講読力と作文力の

養成に力を入れたいと思います。テキストとしては、スペインや中南米諸国の若者たちが書いた郷土紹介をコピーで用意する予定です。

## スペイン語 F L L (初級)

ホワン・ナバロ

初心者を対象に、スライドやビデオを見ながら、やさしい日常会話を勉強します。

## スペイン語 F L L (中級)

ホワン・ナバロ

前年度 L L 初級を終えたもの、またはそれと同等の学力を身につけているものを対象に、ビデオを見ながら、日常会話を勉強します。

## ロシア語 F

岡 沢 宏

本講座はロシア語初級課程を終えたものを主たる対象とする。ロシア語の読解力と表現力の養成を目標とする。名文といわれる様々なスタイルのロシア語の文章に接することにより、ロシア語のもつメリハリのある美しさと力強さを味わっていただきたいと思う。

〔教科書〕 教場にて指示します。

## ロシア語 F L L (初級)

タチャーナ・バリーソヴナ・野村

テキストに従いやさしいロシア語の日常会話を学習する。正しいロシア語の発音やイントネーションを練習し、簡単なロシア語の表現力を身につけることを目的とする。

〔教科書〕 『ロシア語を話しましょう』を使用する。

## ロシア語 F L L (中級)

タチャーナ・バリーソヴナ・野村

初級課程で得た知識を土台に更にロシア語独特な生の

言いまわしや、日常会話の平均的速度になれてもらい、自由な発話への第一歩となる様に心がけていきたい。

〔教科書〕 教場にて指示。

### 日本語F（初級）（留学生対象）

杉山 秀子

本講座は昭和57年度に初めて設置された留学生のための日本語の随意科目である。日常生活における意志伝達にはさほど苦労しないが、若干こみいった内容の聴きとりや説明、正しい表記・用語法などに困難を感じている留学生諸君は是非受講されることが望ましい。なお、受講者の日本語のレベルもバラバラであると予想されるので、授業の最初に簡単なアンケートとテストに答えてもらい、その後に細目について詳しく説明する。授業では最新の日本語教育用のビデオやスライド等を駆使しつつ、現代生活に密着した正しい日本語を修得することを旨としていきたい。

〔教科書〕 面談の上決定します。

### 日本語F（中級）（留学生対象）

大塚 純子

日本語Fの初級課程を終えたもの、あるいはそれと同等の学力を有する留学生を対象とし、日本語での発表能力や、表記・表現法をさらに高め、深化させていく。授業では適時、新聞・雑誌の読みあわせや、NHKの教養番組の聴きとり、ニュース解説、日本映画等のビデオ録画をとりあげて、偏りのない日本語の総合力を身につけることをめざしたい。

——一週間に一度は必ず小テストをし、レポートの提出を義務づけるので授業はなるべく休まないこと。

〔教科書〕 教場にて指示します。

## 基礎教育科目

### 経済学概説

中村 雄次郎

現在、わたくしたちが生活している資本主義社会は、重商主義時代はいうまでもなく、自由主義時代の資本主義とも著しくその趣をこととしています。しかしいづれにも資本主義社会であることに変わりありません。

『経済学概説』では、どのような国であっても、どのような時代であっても、社会が資本主義社会である限り、したがわなければならない法則と、この社会の制度とをとりあげます。

〔教科書〕 岡崎次郎著『経済原論』（法政大学出版局）

〔参考書〕 講義の際、紹介します。

### 経営学概説

小野寺 孝一

- (1) 経営学の方法について、教科用専門書において考える。
- (2) 経営経済学の課題と経営技術論。
- (3) マネジメントの主体と方法について。
- (4) 社会主義経済下におけるマネジメントについて、中国経済において考える。
- (5) 経営学のカリキュラムについて。

以上の論題において講義をおこなう。

〔教科書〕 『経営学基礎：方法論考：』（白桃書房）

〔参考書〕 『経営技術論』（白桃書房）

# 専 門 教 育 科 目

## 簿 記 学

近 藤 禎 夫

社会科学としての簿記・会計学は、計算技術的側面の理解のみにおわってはいならない。

それが現実の社会・経済において、どのような役割を果たしているのかという点もあわせて解明する必要がある。このような視点から、一年間みっちりと簿記論を講じてみたい。

〔教科書〕 敷田礼二『資本主義と簿記』（全訂版）  
〔1984年〕（ミネルヴァ書房）

〔参考書〕 山口 孝『企業分析—経済民主主義への基礎』〔1977年〕（新日本出版社）  
野村秀和『現代の企業分析』〔1977年〕  
（青木書店）

## 簿 記 学

中 平 栄 一

商企業を中心とする複式簿記の原理について詳しく講述する。なお、出来るだけ多くの記帳問題について練習することになっている。

## 簿 記 学

渡 辺 恵 一 郎

簿記の基礎知識をしっかりと理解してもらいます。「数学嫌い」の人でも数字に強くなるよう、一步一步踏まえていくことが大切です。簿記の対象は、日常の経済活動であり、具体的内容です。また簿記はとくに企業の姿を計数的に表現しますから、他の専門教育科目とも密接な関連があり、その基礎的素養が充実してくれば、次第に「経営を見る」心が得られるでしょう。

毎時間の出席率と宿題提出が重視されます。

〔教科書〕 太田哲三・新井益太郎共著『新講簿記原理』（中央経済社）

## 簿 記 学

片 桐 伸 夫

簿記とは「帳簿記入」の略語であり、読んで理解する学科ではなく、文字どおり、記帳訓練によってその技術を体得する学科です。したがって、受講生は常にレポート提出が要求されることを前提として受講下さい。

〔教科書〕 沼田嘉穂『簿記教科書』（同文館）  
¥ 2,200

## 簿 記 学

木 下 照 嶽

この講義では、会計学および経営学系統の学習にとって、欠くことのできない簿記の基本的な原理を理解することに重点をおく。記帳練習、定期的テスト（小テストを含む）およびレポート提出が要求される。したがって、一年間、全出席を念頭に、真面目にまた楽しく勉強するよう期待している。

〔教科書〕 東京簿記教育協会編『簿記テキスト』  
『簿記問題集』

## 簿 記 学

東 海 幹 夫

企業会計システムからアウトプットされるデータの理解と適切な運用なくして、企業を合理的に経営していくことは不可能である。複式簿記のシステムは、企業の外部および内部からの要請に基づいて考案された社会的制度的な計算技術である。

本講座は、複式簿記の基本原則を習得してもらうためにある。講義は、一回一回の積み重ねによって総合的な理解を得てもらうように進められるから、学年末にまとめて勉強しようという気持は捨てていただきたい。

〔教科書〕 青山学院大学会計学研究室編『簿記練習帳』

## プロゼミ I（経営コース）

宮 城 徹

このプロゼミでは、現代経営学の底流のまさに基礎を

形成している現代科学論に言及する。そのさいなかんずく、現代経営学の展開にすこぶる多大な影響を及ぼしている、K. ポパーの科学哲学をとりあげるけれども、とくに、「広範で多岐にわたるポパーの思想の精髓を的確にとらえ」（監修者あとがき）ている、ブライアン・マギーの近著を素材として講義を進める予定である。また適宜必要なレファランズについても指摘する。

〔教科書〕 B. Magee, *Karl Popper*, New York: The Viking Press, 1973 森 博監修『カール・ポパー』富士選書, 昭和55年。

### プロゼミ I (経営コース)

山 田 勝

経営の勉強に役立つ素養をみにつけることを第1目的にする。適当な教材をテキストとして選択し、それを中心に発表とディスカッションをとおして授業を進める。受講者は出席につとめ、勤勉な学習態度が要求される。なお、授業の性格上、レポート提出を多く義務づけるので希望者は注意して下さい。テキストは開講時に指示する。

### プロゼミ I (会計コース)

近 藤 禎 夫

経営・会計上の理論的ならびに現実的諸問題をミーティングの都度とりあげ、これらの学習を通じて社会科学とは何であるのか、またそれはどのように学ぶべきかという基本的命題にアプローチする。

〔教科書〕 開講時に指示する。

### プロゼミ I (会計コース)

渡 辺 恵 一 郎

簿記の基礎知識を習得させる。とくに日本商工会議所の簿記検定試験を受験する人を対象に、問題集を中心に講義を進める。

〔教科書〕 開講時に指示する

### プロゼミ I (経済コース)

内 藤 二 郎

毎回諸君に問題提起をしてもらい、それについて討論を進めてゆきたいと思う。

### プロゼミ I (経済コース)

羽 鳥 茂

本年度は社会保障の問題、特に公的年金と医療の問題を中心に諸君と一緒に勉強してゆきたいと考えています。厚生省の試算によると、1人の老人を支える現役の者は、現在の6.2人から昭和100年(フレッシュマンとしての諸君達が60歳以上になる年です。)には2.3人に減少すると見込まれています。その時点で諸君達の生活を支える経済的基盤の1つである十分な年金給付は果して可能でしょうか。大学へ入りたてのフレッシュマンにとっては辛気臭いテーマのようですが、自分の一生のライフ・サイクルを人生の新しい出発点で考えてみるのも意義あることでしょう。なお、ゼミですから研究報告やレポートの提出には厳しくするのので了承しておいて下さい。

〔教科書・参考書〕 開講時に示します。

### 経 営 学

北 村 健 之 助

基礎理論をふまえて、産業経営や商業経営の特徴を明らかにし、これら経営に共通する労務、財務の問題や管理、組織その他の現代的な問題をお話して、経営学を学ぶみなさんに少しでもお役にたつよう努力したいと思えます。教科書および参考書は期間中にお薦めいたします。

### 会 計 学

長 松 秀 志

会計学は企業の経済活動(企業資本運動)の統制と総合的把握を行う学問である。本講義では会計学全般にわたる基礎知識を理解できるように平易に講義する。

〔教科書〕 染谷恭次郎『会計学』(中央経済社)

〔参考書〕 多数のため学年始めに指示する

### 経 営 史

前 田 和 利

経営史は「企業経営とは何か」について史的に答えていくことに研究の意義がある。講義では、経営史学の課題と方法を検討し、そのうえにたつて企業経営の一般の発達史を論ずる。そこでは経済過程や文化構造と関連させつつ、企業経営者のタイプ、経営形態、企業形態、組織と管理などの問題に焦点をあてる。

〔教科書・参考書〕 開講時に指示します。

## 近代経済学

滝田 公一

中級ミクロ経済学の講義を行います。経済概説で学んだ事柄が一層発展させられ、精緻化されます。

〔教科書〕 開講時に指示します。

## 経営管理論

鈴木 幸毅

経営管理の諸問題を体系的にとりあげ、説明するとともに、とくに後期では近代的管理論について集中的に講義したい。

〔教科書〕 鈴木幸毅『組織と管理の批判的研究』（中央経済社）

## 原価計算論

近藤 禎夫

1984年度においては、下掲のテキストにより以下に示す内容を講義する。

- ① 資本制の原価計算の役割とその考え方
- ② 原価計算の概要
- ③ 原価の費目別計算
- ④ 原価の部門別計算
- ⑤ 個別原価計算の方法
- ⑥ 総合原価計算の方法
- ⑦ 標準原価計算
- ⑧ 経営計画と原価計算
- ⑨ 社会主義の原価計算方法
- ⑩ 原価計算の歴史

〔教科書〕 大即英夫他著『原価計算』〔1972年〕（有斐閣） ¥ 1,300

〔参考書〕 敷田礼二・近藤禎夫共著『原価公開—経済民主主義への布石』〔1976年〕（新日本出版社） ¥ 430

## 企業形態論

渡辺 行男

講義すべき主要な問題は以下のとおり。

- ① 企業形態の史的分析（とくに、2と3）
  1. 重商主義段階

2. 自由主義段階

3. 帝国主義段階

### ② 現代資本主義における企業形態

1. 現代株式会社（持株会社・コンツェルンなど）

2. 現代公企業（公社・国家持株会社・国家コンツェルン）

3. 現代協同組合（生協・中小企業協同組合）

〔参考書〕 開講時に指示する。

## 統計原論

後藤 儀一郎

統計学は経営学や経済学は言うにおよばず、医学、社会学、自然科学などの各方面で広く用いられている。およそ実証研究しようとするとき、統計学の知識なしにできる場合というものは少ない。

統計学とは何か、統計学的考え方とはどのようなものかについて、学習する。

〔教科書〕 『現代統計解析』（芦書房） ¥ 2,700

## 日本経済史

内藤 二郎

近世農村について、本百姓を中心とした村落構成を上げたいと思う。

〔教科書〕 『本百姓体制の諸問題』（八千代出版） ¥ 3,500

## 民法 I

鶴井 俊吉

本講義は民法のなかの財産法を対象とする。

財産法は、われわれ日常生活で最も密接に関係する法分野であり、その内容は、私有財産制の保持・活用のための法制度である。民法典のうち、総則・物権・債権編がこれに属するが、そのなかで、総則・物権に関する基礎的な解説を通じて、主要な原理・原則を理解できるように講義を進める予定である。

〔教科書〕 教場にて指示する。

## プログラミング論

清水 忠良

最近の電子計算機の発達は著しく、社会生活の種々の分野に活用されている。中でもパーソナルコンピュータ

の普及は目覚ましく、個人用としても広く使われるようになってきている。電子計算機に仕事をさせようとするとき使う言葉、それがプログラミング言語である。

本講では初めてプログラミングを学ぶ人のために、初心者向けの言語 BASIC について解説する。これは、数あるプログラミング言語の中でも、パーソナルコンピュータにおいて最も多く使われている言語である。講義と平行して実習も行なう。

プログラミングの技術と考え方を身につけ、電子計算機を自分の道具として経営学の学習に役立てていってほしい。

〔教科書〕 戸川隼人『PC 8801 BASIC』(サイエンス社) ¥ 1,800

〔参考書〕 『PC 8801 BASIC リファレンスマニュアル』(日本電気)

### プログラミング論

山崎和海

前期は情報処理並びにコンピュータ・システムというものを、経営学の立場より広い視野から把握していくことに注力して講義していく。

後期は、ではソフトウェアはいかにして作られるのかを、プログラミングの実習を通して講ずる。

なお講義概要は以下のようならう。

- ① コンピュータの基礎知識
- ② 情報システム設計
- ③ プログラム設計
- ④ 流れ図
- ⑤ プログラミング

(BASIC 中心で、CÔBÔL も紹介)

〔教科書〕 江村・野津共著『コンピュータ・システム入門』(オーム社)

森口・小林・武市共著『情報科学—3 プログラムの読み方』(岩波書店)

〔参考書〕 山内 昭編著『コンピュータ概論』(白桃書房)

間野・川嶋・佐藤共著『コンピュータ入門』(実教出版)

### プロゼミⅡ(経営コース)

鈴木幸毅

企業経営のコンピュータ化の諸問題を理解するために基礎的知識と理論について説明する。

〔教科書〕 ショーダーベックほか著『マネジメント・システム』(文真堂)

### プロゼミⅡ(経営コース)

武田 康

経営学の内容は多種多様で広範囲に亘っている。こうした経営学研究にはまず全体像の概略を把握し、それから各専門分野の研究に進むことが重要であると考え。そこで当該講座においては「経営学の全体像の概略を把握する」という目標の線に沿って、次のテキストを使用し、受講者の部門別分担研究、相互の質疑応答、討論を通じて、最終的には受講者全員が経営学全般の基礎的総合的知識を習得出来るように指導する。

〔教科書〕 藤芳誠一編『経営学』(学文社 昭和54年)

### プロゼミⅡ(会計コース)

久松治夫

プロゼミⅠと同様に工業簿記、原価計算を中心として進める予定。経営管理上重視される標準原価計算、直接原価計算等についても論及し、また記帳練習もすることで実践的な計算能力を高めるよう期待する。

〔教科書〕 久松治夫著『原価計算論』(成文堂) ¥ 1,500

〔参考書〕 開講時に指示する。

### プロゼミⅡ(会計コース)

片桐伸夫

簿記・会計を扱う。なお、プロゼミⅡということで、1年次に履修した簿記の知識を前提とし、さらに進んだ学習を行なうことにしたい。そのさい、学習の進め方としては、プロゼミはゼミに準ずるものであり、講義とは違うので、学生諸君のレポートを中心とする。さらに、記帳訓練を徹底し、毎回、宿題を出す予定である。また、出席を重視し、無断欠席を認めない。

〔教科書〕 開講の時指示する。

### プロゼミⅡ(経済コース)

内藤二郎

経済学入門的な問題を随時取上げ、学生諸君に五分内外の報告をしてもらい、それを中心に討論する方針。

教材は随時提示す。

プロゼミⅡ（経済コース）

滝田 公一

初歩の統計学について演習を行う予定です。予備知識としては、初歩の微積分の知識が必要です。

〔教科書〕 P. G. ホーエル著『入門数理統計学』  
（培風館） ¥ 2,600

商 法 I

今 井 薫

商法の構造および解釈の方法を講述したあと、資本制社会の最も典型的な法主体たる会社について、考察する。

〔教科書〕 荒木・福井共著『商法総則・会社法』〔第一分冊〕（成文堂）

〔参考書〕 『会社法判例百選』

外書講読（英）

石名坂 邦 昭

保険に関する基礎的な文献を選び発表方式で授業を行なう。なお文献については開講時に示す。

外書講読（英）

高 田 光 明

英語を日本語に機械的に置き換えるだけでは英文を理解したことにはならない。この授業では、英文の専門書の内容を正確に把握できるようにする訓練を行う。教科書は、企業財務関係の入手しやすいプリント版を使用する予定である。なお、受講する学生は、授業で進める範囲を前もって各自予習しておくことを希望する。

外書講読（英）

平 山 健 二

経営コース（会計でなく）の講読をしますが、テキストは初回の授業で決めます。

外書講読（独）

百 濟 勇

近年、アメリカ、ヨーロッパ諸国から日本の企業見学のため多くの代表団が訪日している。その関心の中心は、「日本的経営」である。日本が、世界のGNPの10%を生産する背景からも、諸君も卒業後想像する以上に、外国の企業とのかかわりで働くことになろう。その場合、終身雇用、年功序列それに企業組合を特色とする日本的経営を知っていることは、諸外国との経営比較からも大変有意義である。こうしたことから、外国人による日本的経営研究をテキストとして使用する。これと並行して西独、スイスの新聞、雑誌などその都度参考としてとりあげる。

〔教科書〕 Angelika Ernst: Japans unvollkommene Vollbeschäftigung, Hamburg 1980  
（プリントで配布）

外書講読（仏）

中 村 雄次郎

受講者がこれまでに習得してきた学力にあわせて、教科書を選びたいと思っています。下記の著作は、昨年使用したもので、景気変動をみつかったものですが、これも学生の興味と力に合わせて定めたものです。

BOUNATIEN, M., Dèpression, progrès technique et dévaluation.

学術書に限らず、新聞や雑誌または文庫の中から、適当なものを教材に選ぶ予定です。入手困難な教材は、複写して配布します。

〔教科書・参考書〕 未定

外書講読（中）

松 本 丁 俊

近代中国のイデオロギーを知るために、アヘン戦争当時の上海金融状況を解明しつつ、中国の近代化に及ぼさせた影響をさぐる。授業は原文をコピーし、読み合せながら訳を中心としてすすめる。従って年間を通しての成果は中国の新聞などが読めることになる。

〔教科書〕 プリント使用

〔参考書〕 『中国近代史』（商務印書館）

## 外書講読 (ス)

細川幸夫

スペイン語を選択した者で、2年間の教養課程を修了した者を対象に、言語を学ぶことはこんなにも楽しく、人生に意義あることかという興味ある授業を学生と共に行う。ラテンやタンゴの歌、詩、エッセイ、また日常生活的な表現形式より見たスペイン語圏世界の風土・文化・歴史・死生観などを学ぶ。

〔教科書〕 開講時に学生と相談してきめる。

## 経営学史

北村健之助

ドイツ経営経済学(前史, 成立, 1・2・3次方法論争, 現代の経営経済学)およびアメリカ経営学(成行管理, 科学的管理法, 管理過程論, 行動科学的展開)等々の発展過程を現代経営学を軸に探り, 経営学の基本問題に迫ることができればと思います。テキスト, 参考書は一応下記に示しましたが, 必要があればその都度他の参考書をもお薦めする積りです。

〔教科書〕 北村健之助『現代ドイツ経営経済学の方法——その諸問題』(白桃書房)

〔参考書〕 藤芳誠一『図説 経営学』(学文社)

## アメリカ経営学

宮城 徹

経営学がすこぶる間口の広い学問であることは否定しえない。こうして、アメリカ経営学における教科編成という観点からみれば、そこには多様な領域がカバーされるのでなくてはならない。この講座では、こうしたいわば多面的特徴をもつ、アメリカ経営学のほぼ全体的な姿を明らかにする、という趣旨で、最も先端的展開としてのコンティンゼンシー理論に重きを置きつつ、かんたんに表現すれば、少なくとも、以下の項目を順次とりあげ講義を進めるつもりである。

- 1 制度・新制度学派
- 2 伝統的管理論
- 3 意思決定理論
- 4 組織の性格
- 5 組織構造
- 6 組織過程
- 7 組織と社会, その他

〔参考書〕 宮城 徹『企業の政治理論序説』(税務経理協会)

## 経営労務論

掛谷力太郎

概ね下記内容について、労働管理と社会制度との関連性をとりあげることとする。なお資本主義社会と社会主義社会の労働管理比較をなしつつ、日本の労働管理一般体系を概説する。本年度はとくに労働管理の思想問題に重点をおくこととする。

1. 労働管理の本質と社会制度
2. 競争の問題と社会制度
3. 賃金管理と社会制度
4. 労働組合と社会制度
5. 経営参加と社会制度
6. 婦人労働と社会制度

〔教科書〕 掛谷力太郎『労働管理と社会制度』(白桃書房)

## 経営財務論

高田光明

財務とは資本の調達と運用をいう。企業における財務の問題は、労務とともに、企業経営上考慮すべき重要な事からである。企業の財務を研究対象とする経営財務論は、所要資本の調達問題から、調達資本の効率的運用に関する研究へと重点の置所が移ってきている。この授業では、経営財務論の以上のような現状を考慮しつつ基礎的な事からを中心に、理解を深めるために適宜事例も取り入れて講義するつもりである。基本的参考書等は授業の始めに指示する。

## 管理会計論

長松秀志

現代管理会計の論拠、基本的性格、発展過程、対象、方法、目的、計算構造、現実的役割および実践的問題について講義する。前期は現代管理会計の中心課題である意思決定会計と情報会計の基礎理論をとり扱い、後期は現代経営において行なわれている管理会計の実践的問題について解説する。

〔教科書〕 長松秀志『現代管理会計』(税務経理協会)

〔参考書〕 多数のため学年始めに指示する。

## 経営組織論

平山 健二

今日、これまでの機能的で権化された組織では十分満足とはいえず、チームやシステム構造が現れている。また、普遍的な設計が存在するのでなく、各企業の使命や戦略にふさわしい重要な活動をめぐって、それぞれ設計されねばならないことを理解したい。

## 経営技術論

小野寺 孝一

「経営する」その方法として、思想・政策・技術に分類できるとする。そのうち経営技術について考えてみる。まず、その種類と機構。これらは資本主義経済において展開されているので、その機構において資本主義の本質をもっている。それはどのようなものかということを考える。これは技術の史的展開においてどのような問題があるかということや、また史的段階の異なる経済社会への技術の移植において、どのような問題が生ずるか、それをどう解決するかということを考える場合の基本である。従ってこれはどうしても考えておかねばならないことである。

〔教科書〕 『経営技術論』 (白桃書房) ￥2,000

〔参考書〕 『経営学基礎：方法論考：』 (白桃書房)

## 保険経営論

石名坂 邦昭

今日、日本経済は世界的な景気の停滞と貿易摩擦の激化から輸出の減少傾向となり、一方国内の個人消費、住宅投資、設備投資が伸び悩むなど景気回復に暗い材料が多い。こうした中であって高齢化問題など企業が克服しなければならないリスクが山積されている。そこで本講義においてははいかに各企業が企業危険に対処したらよいかといった観点から、リスク・マネジメントおよび保険を科学的にかつ実際的問題を取りあげながら行なう。

〔教科書〕 『リスク・マネジメントの基礎』 (白桃書房)

## 公益企業論

石井 彰次郎

1. 公益企業の実態形態
2. 公益企業概念の成立

## 3. 公益企業規制の発達

## 4. 政府と公益企業との関係

以上の諸項目を中心として講義を行なう。

〔教科書〕 講義の際、指示する。

## 日本経済論

羽鳥 茂

現在の日本経済が直面している問題は多様で、かつ相互に複雑に絡みあっており、それらを統一的に理解することはかなり困難な作業であるといえます。しかし、現在のわれわれに残されている理論的、実証的な研究の蓄積が豊富にあることも事実であり、それらに基づいて日本経済の現在及び近い将来に予想される重要な経済問題にアタックすることはわれわれの責務でしょう。

本講義では日本経済の問題点を経済理論の枠組みによって説明し、事実を計量経済学的手法で明らかにするというアプローチを採っています。以上では具体的な問題に触れませんでした。諸君1人1人が興味をもっている問題は広範囲に採り上げていく予定です。

〔教科書・参考書〕 開講時に示します。

## 経済政策

西山 司

本年度の経済政策の講義は、経済政策の理論および経済政策の史的展開過程の解明を中心に、各国で実施されている現代の経済政策についても論述する予定である。

特に「価値判断」論争をめぐっての諸問題点や、従来の経済政策論の主要な学説を検討するとともに、経済学体系における経済政策論の理論的位置を論究し、その果すべき課題を究明して、経済政策論の体系的な解明をおこなうように努める。

〔教科書〕 ノートを中心に講義する。

〔参考書〕 清水・松原編『経済政策論を学ぶ』 (有斐閣) ￥1,300

## 金融論

石野 典

金融論は、かつて Money and banking と呼ばれ、貨幣と銀行とを中心に展開された。しかし、より広く金融現象を捉え、理論とともに制度や歴史を含むものになりたい。なお、最近の金融革命と呼ばれる現実にも接近する。

おおよその内容は、つぎの通り

- (1) 金融の実態と役割

- (2) 金融システムと市場構造
- (3) 金利の決定とその諸問題
- (4) 家計・企業・政府の金融行動
- (5) 金融機関の行動
- (6) 金融の国際的側面
- (7) 金融政策

講義方法はノート形式、テキストは利用しない。金融に関する著書の読書感想文の提出。

- 〔参考書〕 石野・中山共編『貨幣経済の分析』（学文社）  
原司郎編『テキスト・ブック金融論』（有斐閣）

## 上級簿記

渡辺 恵一郎

1年次の「簿記学」を基礎に、その応用能力を養い、簿記の理論を、問題解答、解説により展開する。各種の簿記検定試験や国家試験（公認会計士、税理士など）に挑戦する意欲の旺盛な人々が受講するよう希望。なお、指名、割当制により問題解答をしてもらう。

〔教科書〕 開講の時に指示する。

## 経営統計

後藤 儀一郎

統計学、特に推測統計学の知識は経営学あるいは経済学の分野においても広く用いられている。統計学はもはや資料の収集とそれを表や図で表わすだけのものではない。不確実性と危険を含むあらゆる状況を論理的かつ組織的な方法で考察する。推測統計学の理論を学びながら、それらが実際においてどのような応用（例えば統計の品質管理、実験計画、線形計画等）されるかを、学習する。

〔参考書〕 『現代統計解析』（芦書房） ¥ 2,700

## 経営分析論

片桐 伸夫

経営分析の伝統的、基本的方法から現在着目されている方法までを大略、以下の要領で講義する予定ですが、特に伝統的、基本的方法である収益性、流動性、生産性の分析にポイントを置きます。

- (1) 収益性分析
- (2) 流動性分析
- (3) 生産性分析
- (4) 成長性分析

## (5) 社会性分析

〔教科書〕 開講の時指示します。

## 経営情報論

加藤 武信

本講座では経営管理におけるMIS（経営情報システム）の特質、構造および機能について、理論的・技術的側面から考察する。すなわち ①MISの基礎 ②MISの理論と技法 ③MISの役割 のそれぞれに関する内容、特徴および問題点を明らかにする。さらに1980年から始まる情報化の特徴であるOA（オフィスオートメーション）についても検討を加え、進展する情報化社会の一面をとらえることを目的とする。

〔教科書〕 長松秀志著『経営情報システム』（白桃書房）

〔参考書〕 T.R.プリンス著・宮川公男監訳『計画と管理のための情報システム』（ダイヤモンド社）  
P.E.ロソフ編著・竹中直文他訳『コンピュータ情報システム』（日本生産性本部）

## 民法Ⅱ

青野 博之

民法典のうち、第三編「債権」を本講義の対象とする。主として、売買契約、賃貸借契約を具体例としてあげながら、契約法を説明し、最後に不法行為法を取り扱う予定である。

〔教科書〕 谷口・於保監修／甲斐・乾・椿編『新版民法概説2』（有斐閣）

## 財政学

山口 忠夫

財政、財政政策一般について述べる。とくに国民経済との関連を解明しながら、経費、租税および公債に関する事項について述べるつもりである。なお財政投融資についても言及する予定である。

## 国際経済論

永田 智則

現実の国際経済象を分析する道具として、国際経済理論を一通り講義するが、今年度は、近年大きな国際経済

問題としてクローズされてきた貿易摩擦問題を取り上げその解明に努めたい。

教科書・参考書については開講時に指示する。

## 貿易経営論

武田 康

外国貿易が直接投資による多国籍化経営に発展している現実に対応して外国貿易、直接投資に関する諸問題の理論的側面を探究するとともに、日米両国の外国貿易と直接投資による現地生産の類型を歴史的視点から比較し総合商社をはじめ日本型国際経営の特質を講義することとする。

〔教科書〕 武田 康『国際経営の基礎的諸問題』（白桃書房）

## 会計監査論

中平 榮一

主として独立監査人による財務諸表監査について講述する。なお、当然、商法監査及び内部監査について言及する。

## 税務会計論

鈴木 明男

税務会計の基本的課題は課税所得および租税負担額の算定である。ところで課税所得は租税特有の理念に左右され、本来の経済計算である会計上の利益や商法上の利益とは内容が異なっている。講義では、租税特有の理念とそれに導かれる課税所得の計算構造、そして課税所得と企業会計および商法会計との関連と違いを研究する。次いで、租税は個人と法人の双方に係ることから、個人の所得への課税を取扱う所得税と、法人の所得を取扱う法人税の具体的内容に立入る。

〔教科書〕 赤間研一・鈴木明男共著『基本税務会計』（税務経理協会）

## 証券市場論

柿崎 暎次

下記事項を中心に証券論全般にふれる。

1. 株式・社債の発生
2. 国民経済と証券市場

3. 証券市場の歴史
4. 株式市場（発行、流通）
5. 公社債市場（発行、流通）
6. 証券取引所
7. 証券会社
8. 投資信託
9. 企業内容の開示
10. 証券金融

〔教科書〕 『図説 日本の証券市場』（財経評報社）  
〔参考書〕 上林正矩『証券市場論』（上・下）（千倉書房）

## 日本経営史

斎藤 憲

新興財閥を中心に講義を進める。財閥と言うと一般には三井、三菱、住友等を考えがちであるが、昭和戦前期、重化学工業化の進展の中で、これら既存の財閥に対抗して成長した企業集団があった。日産、日窒、森、日曹、理研がそれで、新興財閥と呼ばれる。これら諸集団は、著しい発展の後、戦争経済の中で瓦解していくが、その革新に満ちた経営は戦後経営の先取りであった。新興財閥の先進性と限界を窺うことによって、明治以降の近代的経営がなぜこれら新興財閥を生み出さねばならなかったか、日本の経営における戦前と戦後との継続と断絶とは何か、を諸君といっしょに考えてみたい。熱心な学生をのぞむ。

〔教科書〕 宇田川勝『昭和史と新興財閥』（教育社歴史新書） ¥ 800

〔参考書〕 小林正彬他編『日本経営史を学ぶ』1・2（有斐閣選書）ともに ¥ 1,100

## 銀行経営論

近沢 敏里

現在、日本の金融界は各種規制の緩和、国債発行残高の増大、為替管理の自由化による資本流出入の活発化の影響下に急速に変化しつつある。

本講義においては、主要な業務に即しつつ銀行経営の基本について解説するとともに、金融界の新情勢を自らの手で作り出し、あるいは新情勢に対応する努力を続けている銀行の現状と将来の展望について論じ、銀行経営の実態をできるだけ明らかにしたい。

〔教科書〕 『銀行読本』（東洋経済新報社） ¥ 1,700

## 国際金融論

池田 健

拙著国際金融論により国際金融の理論を講じ、なお必要により時事問題を解説する。

〔教科書〕 池田 健『国際金融論』

## マーケティング論

武田 康

現代マーケティング論は経営システム論をベースとしてアメリカにおいて体系化された戦略経営論である。講義ではそれが発達を遂げた背景のアメリカの経済社会環境との関連において理論的体系を明らかにしてゆくこととする。

〔教科書〕 武田 康『整合戦略の経営』（創成社）

〔参考書〕 武田 康『現代マーケティング・システム入門』（白桃書房）

## 財務会計論

久松 治夫

本年度の財務会計論は、企業会計原則および会計法令を中心として、企業の財務会計問題を総合的・体系的に講述する。内容は次の通り。

1. 企業会計の講義
2. 企業会計原則
3. 資産会計
4. 負債会計
5. 資本会計

〔教科書〕 新井清光著『財務会計論』（中央経済社）

〔参考書〕 開講時に指示する。

## 商業史

山田 勝

現代商業の生成過程を、貿易を中心に講義する。特に商人（社）を中心にすえ、現代商業との関連に留意しつつ行なう。対象とする時代は西欧については16世紀以降、日本については19世紀中葉以降とする予定である。

〔教科書〕 山田 勝『近代イギリス貿易経営史（増補版）』（創成社） ¥ 2,300

## 商業経営論

森宮 勝子

商業経営論とは、生産者と最終消費者との中間にあつて、商品もしくはサービスを購入・販売することを業とする中間商業者の活動をその研究対象とする。低経済成長へ移行して10年経過した今日、商業経営も減量経営を余儀なくされ、新たな対応を模索してきた。所得水準の高度化にともなう消費者の欲求の多様化により、販売ターゲットとしての消費者の的確な把握は、ますます難しくなりつつある。このような環境下において商業経営はいかに行なわれるべきかを店舗管理、商品政策、仕入政策、商品管理、販売管理、財務管理等の諸領域より検討する。

〔教科書〕 出牛正芳他著『商業経営論』（税務経理協会） ¥ 3,500

## 商法Ⅱ

荒木 正孝

企業活動の活発化に伴って手形・小切手の利用が増大し、現在、企業間取引においては手形が商業貨幣として、また小切手は現金に代わる決済手段として重要な役割を果たしている。ここでは代表的な有価証券である手形・小切手に関する法的規制について説明する。講義の内容を十分理解するためには民法Ⅰおよび民法Ⅱの知識をもっていることが望ましい。

〔教科書〕 大野実雄著『商法（手形法・商行為法）』（成文堂）

## 労働法

掛谷 力太郎

本年度は概ね次の内容の講義をおこなう。

1. 労働法生成発展の歴史
2. 労働法学の発展過程
3. 現行労働法の問題点
4. 比較労働法と経営参加の法理
5. 公共部門労働者の労働基本権
6. 社会制度と労働法

## 教職および資格講座

教 職 課 程  
学 校 図 書 館 司 書 教 諭 講 座  
博 物 館 学 講 座  
社 会 福 祉 主 事 講 座  
社 会 教 育 主 事 講 座

※ 上記の教職および資格講座授業科目の講義内容が掲載されているが、各学部において受講出来る課程および講座は以下のとおりである。（履修についての詳細は「教職課程・資格講座受講の手びき」を参照）

課 程 ・ 講 座 名	資 格 取 得 学 部
教 職 課 程	全 学 部
学 校 図 書 館 司 書 教 諭 講 座	全 学 部
博 物 館 学 講 座	文 学 部 ・ 仏 教 学 部
社 会 福 祉 主 事 講 座	文 学 部 ・ 仏 教 学 部
社 会 教 育 主 事 講 座	文 学 部 ・ 経 済 学 部 ・ 法 学 部 ・ 経 営 学 部



# 目 次

教育原理(上岡 安彦) .....	1	哲学特講Ⅱ(西洋)(国嶋 一則) .....	7
教育原理(村山 輝吉) .....	1	宗教学特講Ⅰ(松田 文雄) .....	7
教育原理(坂本 信昭) .....	1	宗教学特講Ⅱ(脇本 平也) .....	7
教育原理(木戸 三子) .....	1	宗教学特講Ⅲ(洗 建) .....	7
青年心理学(大浜幾久子) .....	1	教育史(磯野 昌蔵) .....	8
青年心理学(武井 澄江) .....	1	宗教教育(櫻井 秀雄) .....	8
青年心理学(牟田 悦子) .....	1	教育関係法規(木戸 三子) .....	8
青年心理学(渡辺三和子) .....	1	教育関係法規(船木 正文) .....	8
教育心理学(大浜幾久子) .....	2	図書館学Ⅰ(若林元典・山崎慶子) .....	8
教育心理学(武井 澄江) .....	2	図書館学Ⅱ(若林 元典) .....	8
教育心理学(中村 均) .....	2	博物館学(倉田 芳郎) .....	8
教育心理学(渡辺三和子) .....	2	博物館実習Ⅰ(館務)(倉田芳郎・鶴丸俊明) .....	9
道德教育の研究(半期)(万羽 晴夫) .....	2	博物館実習Ⅱ(収集)(倉田芳郎・葉貫磨哉 所理喜夫・伊藤玄三) .....	9
教育実習(上岡 安彦) .....	2	博物館実習Ⅲ(見学)(倉田芳郎・狩野千秋) .....	9
教育実習(村山 輝吉) .....	2	博物館実習Ⅳ(特講)(石井則孝) .....	9
教育実習(坂本 信昭) .....	3	視聴覚教育(赤堀 正宣) .....	9
教育実習(木戸 三子) .....	3	日本文化史Ⅱ(圭室 文雄) .....	9
国語科教育法(神谷 道倫) .....	3	西洋文化史Ⅰ(楡川 一朗) .....	9
書道科教育法(谷村 義雄) .....	3	西洋文化史Ⅱ(阿部 重雄) .....	9
宗教科教育法(松本 皓一) .....	3	仏教美術(林 良一) .....	10
英語科教育法(大沢 一雄) .....	3	現代美術(中山 典夫) .....	10
社会科教育法(地理)(高木 久) .....	3	禅美術(竹内 尚次) .....	10
社会科教育法(地理)(中島 義一) .....	3	美術史概説(林 良一) .....	10
社会科教育法(歴史)(野呂 肖生) .....	4	西域美術史(林 良一) .....	10
社会科教育法(谷敷 正光) .....	4	考古学概説Ⅰ(日本)(倉田 芳郎) .....	10
社会科教育法(古屋野素材) .....	4	考古学概説Ⅱ(外国)(飯島 武次) .....	10
社会科教育法(大久保治男) .....	4	考古学特講Ⅰ(飯島 武次) .....	10
職業科教育法(山田 勇治) .....	4	考古学特講Ⅲ(狩野 千秋) .....	10
商業科教育法(谷敷 正光) .....	5	日本民俗学(小島 清志) .....	11
商業実習(前田 幸一) .....	5	仏教民俗学(和田 謙寿) .....	11
職業指導(山田 勇治) .....	5	宗教人類学(佐々木宏幹) .....	11
産業概説(和田 禎一) .....	5	考古発掘実習(飯島 武次) .....	11
世界史概説(前田 正名) .....	5	社会福祉概論(高橋 重宏) .....	11
世界史概説(青木 道彦) .....	6	障害福祉論(原田 信一) .....	11
日本史概説(芥川 龍男) .....	6	社会福祉実習Ⅰ(原田 信一) .....	11
地誌学概説(今朝洞重美) .....	6	社会福祉法制(小林 弘人) .....	12
地誌学概説(長野 覚) .....	6	公的扶助論(小沼 正) .....	12
地誌学概説(渡辺 盾夫) .....	6	児童福祉論(原田 信一) .....	12
自然地理学概説(早船 元峰) .....	6	老人福祉論(奥山 正司) .....	12
人文地理学概説(高木 久) .....	6	社会保障概論(小沼 正) .....	12
社会学原論(渡辺 源樹) .....	6	地域福祉論(岡田 真) .....	13
経済原論(小野 俊夫) .....	7	ケースワーク論(高橋 重宏) .....	13
政治学原論(飯山 勇) .....	7	グループワーク論(松本 栄二) .....	13
民法Ⅰ(鶴井 俊吉) .....	7	社会福祉事業発達史(林 千代) .....	13
哲学特講Ⅰ(東洋)(篠原寿雄) .....	7		

母子福祉論(林 千代) .....	13
医療社会事業論(春見 静子) .....	14
社会福祉方法総論(高橋 重宏) .....	14
社会福祉管理運営論(重田 信一) .....	14
リハビリテーション論(原田 信一) .....	14
社会教育概論(磯野 昌蔵) .....	14
社会教育方法論(磯野 昌蔵) .....	14
社会教育行政財政(酒匂 一雄) .....	14
教育社会学(村山 輝吉) .....	15
社会心理学(坪井 健) .....	15
社会教育施設(村山 輝吉) .....	15
児童教化(富田 博之) .....	15
青少年問題研究(和田 謙寿) .....	15
青少年指導演習(和田 謙寿) .....	15
社会教育演習(上岡 安彦) .....	16
教育評価(大浜幾久子) .....	16
教育法規研究(神田 修) .....	16
成人指導及青少年指導(酒匂 一雄) .....	16
生活指導(秋山さと子) .....	16
教育哲学(汐見 稔幸) .....	16
教育調査(大塚 雄作) .....	17

## 教育原理

上岡安彦

『エミール』(上・中・下)を年間を通して読みます。次にそこで、でてくる問題について日本の現象を例として教育学的に考察します。

そして最後に原典に直接触れ、ルソーの音楽の音色を身体で感じることにします。

〔教科書〕『エミール』〔上・中・下〕(岩波文庫)

上 ¥ 550, 中 ¥ 450, 下 ¥ 450

『教育学研究入門』(東大出版会)

¥ 1,800

## 教育原理

村山輝吉

下村湖人ほか二・三の教育論を紹介しながら、教育とは何かについて、その目的・内容・方法・制度・歴史と現状、展望と課題等にわたって講じる。

## 教育原理

坂本信昭

1. 教育とは何か
2. 教育の目的
3. 教育の内容
4. 教育の方法
  - (1) 学習指導
  - (2) 生活指導
5. 教育の経営
6. 教育の制度
7. 教師

おおむね上記についてテキストにそって論究していきます。

〔教科書〕教師養成研究会編『教育原理』

〔参考書〕デューイ著・宮原誠一訳『学校と社会』(岩波文庫)その他授業で適宜紹介する。

## 教育原理

木戸三子

前半は教育について何がその基本的な問題であるかを考え、後半はそれにもとづき青年期や青年期教育について

検討する。(テキストを定め読み合うこともありうる。)

## 青年心理学

大浜幾久子

まず青年期に限らず一般に、人間の発達とは何か、について考察する。その上で青年期の様々な問題を取りあげ、それらに対する心理学的な分析の方法と最近の研究を紹介、解説していく。また性格テストなどの実習も行う。

## 青年心理学

武井澄江

青年期を乳幼児、児童期から成人への発達系列の中に位置づける。その上で、人間に特有だといわれるこの時期の発達上の特徴をとらえていく。特に、人格、人間関係、価値観など社会的生活の側面が中心となるだろう。なお、講義の中で、人格検査等の実習も行う予定である。

## 青年心理学

牟田悦子

青年期は、時間的な展望の中で自己を再編成する時期であるといわれるが、人間の発達の流れの中での青年期を理解すると共に、教師が、今の教育の現場で出会うさまざまな問題にかかわるとき、どのような基本的な視点をもちうるかについて共に考えていきたい。

〔教科書〕藤永保也編『青年心理学 テキストブック 心理学(5)』(有斐閣) ¥ 1,200

## 青年心理学

渡辺三和子

前期は人格が形成されるとはどういうことか、青年期は人格の形成にとってどんな位置にあるのか、青年期の特徴は何か、等を検討する。後期は、中・高校生に起こりがちな問題行動について述べる。

## 教育心理学

大 浜 幾久子

前半では、発達心理学・学習心理学・人格心理学など現代心理学の諸分野の基礎理論のうち、教育にかかわるものを解説する。後半では、学校教育を中心に、教育の現場の様々な問題を取りあげ、教育心理学的な考え方で、それに関連した最近の心理学研究を紹介、解説していく。また知能テストなどの実習も行う。

## 教育心理学

武 井 澄 江

「発達」「学習」「パーソナリティと適応」「集団」「評価」などに関する心理学的知見を概説する。心理テストの実習も含む。

## 教育心理学

中 村 均

子どもが大人になる途上でどのような変貌をとげ、それにはどんな規則性または特殊性があるか、年齢との関連で（発達）および特定の訓練や経験との関連で（学習）検討する。また、そういった事柄が一人一人でどんな風に違うか（個人差）、個人差が教室や家庭での適応にどう影響するか、これまでの知見を紹介する。

〔教科書〕 『目でみる教育心理学』（ナカニシヤ出版）  
¥ 1,500

## 教育心理学

渡 辺 三和子

前期は教育を受ける子どもをよりよく理解するために次の点を考察する。発達と学習、学習活動のメカニズム、知的な発達のみならず、動機づけ、個人差について。

後期は、教育方法と評価について述べる。個人差に応じた教育とは。さまざまな授業方法の試み、評価の方法について。

## 道徳教育の研究（半期）

万 羽 晴 夫

昨年度は、公教育の近代的原则をふまえながらもとりたてて道徳教育を行うことの根拠として、根源的価値意識論に言及した。今年度は、それを発展させる意図の下に、人格形成学校としての今日の学校の任務と役割を明らかにしつつ、子どもたちの抱える様々な問題を考えながら、道徳教育の今日的課題に迫ってみたい。また他方で、根源的価値意識論そのものの倫理的検討も行ってみてみたいと考えている。

〔参考書〕 中野光・藤田昌士編『史料道徳教育』（総合労働研究所） ¥ 2,000

## 教育実習

上 岡 安 彦

### 事前指導

学校の教師としての仕事について講義  
学習指導案作成実習、カリキュラム編成実習

### 訪問指導

実習期間中の研究授業参加

### 事後指導

デューイの『学校と社会』によって自分の教育実習の体験を吟味し、日本の教育を考えてみる。

〔教科書〕 『中学校 学習指導要領』（大蔵省印刷局） ¥ 250  
『高等学校 学習指導要領』（大蔵省印刷局） ¥ 300  
デューイ『学校と社会』（岩波文庫）  
¥ 300

## 教育実習

村 山 輝 吉

教育実習に主体的にとりくみ、教育についての理解と関心が深まるよう、年間を通じて次の事項を取りあげる。

1. 教育実習の意義と心がまえ
2. 学習指導について
3. 生活指導について
4. 学校と教師に関する諸問題

現場における実習体験をはさんで、講義・討議・レポート作成・面接指導等、適宜の方法と形態で進めていく。

## 教育実習

坂本信昭

駒沢大学の教育実習は“通年履修”となっており、教育実習前後の大学での授業はおおむね下記のとおりに進めます。

教育実習前の段階では、(1)教育実習の意義及び目標・内容（領域）に関する講義とそれに並行して、(2)実習校における教育実習の事例を示し、(3)教育実習の心得などについての事前指導を行なう。

教育実習後は、(1)教育実習の口答報告、(2)レポート作成→提出、(3)グループ編成による授業（ディスカッション）を行ない教育への理解を深め、望ましい教師のあり方などについて考える、いわゆる事後指導を行なう。

〔参考書〕大村はま『教えるということ』（共文社）など、授業で適宜紹介する。

## 教育実習

木戸三子

前半は教育実習についての諸注意や心構えについて述べることを中心とし、後半は実習体験をもとにして、教育現場の諸問題や学習指導や生活指導のあり方を考える。

## 国語科教育法

神谷道倫

中学校・高等学校の国語科教育の意義・動向、ならびに学習内容（領域）、教材に即したそれぞれの指導方法等について講義、しかるのち実際の教材にあたって、教材研究のあり方、指導事項、方法等々、主に模擬授業の形態で具体的に研究を深め、実践に際しての指導力を養成する。

〔教科書〕『中学校・高等学校 国語科教育法（新版）』（桜楓社） ¥ 880

## 書道科教育法

谷村義雄

中学および高校に於ける書教育が近年やや低調であるといわれるのは、専門の教員の實力の貧困に起因することが大きい。書教育の現場教師として必須の条件は何かを考え、これを充すにはどうすべきかを講じたい。また

理論として書論の講義演習を行なう。

〔参考書〕『中国書論集』（二玄社刊）

## 宗教科教育法

松本皓一

宗教科教育に際しての理論的な基本問題、現実に教師となって必要とされる実際上の諸問題を講義する。カリキュラム作成や教材研究等に主眼をおく。

〔参考書〕講義中適時指示してゆく。

## 英語科教育法

大沢一雄

各種教授法について述べたあとで、新しい教授法がどうあるべきかを考える。なお、初級から上級までの各段階の英語教授について演習をおこなう。

## 社会科教育法（地理）

高木久

1. 生徒指導を中心とした教師の在り方
2. 地理学方法論の確認
3. 地理教育について
4. 新学習指導要領の内容
5. 地図指導
6. 教育実習の意義
7. 学習指導案の研究
8. 模擬授業

前期において講義を中心とし、後期においては教室での演習を専一とし、その批判・反省を行なって行く。

## 社会科教育法（地理）

中島義一

年度の当初は社会科教育の実際的方法につき、担当者の経験にもとづき講義する。後は毎時間学生諸君が交代で壇上に立ち、授業演習する。下記教科書のほか、地図帳（中学生または高校生の時使用したもの）と中学校の社会科教科書（これについては授業時指示）が必要である。出席を重視する。

〔教科書〕山崎謹哉『新訂地理教育の本質と実践』（古今書院） ¥ 2,200

## 社会科教育法（歴史）

野呂 肖生

中・高等学校における社会科の授業をどのように展開してゆくかを、とくに歴史分野について実践的に考えてゆきたい。そのため、後期は自ら実習する機会を設定して行う。

## 社会科教育法

谷 敷 正 光

社会科は、民主主義の発展と平和的な国家・社会の形成者の育成をめざす上で、重要な使命を負って誕生した教科であり、日本の将来を担ったと云っても過言ではない教科である。しかし、この社会科教育も、戦後日本資本主義発展とともに大きく変遷し、動揺し続けてきた。

したがって、しっかりとした社会科教育を樹立するため、単なる教授方法の技術論ではなく、より基本的な「教育とは何か」といったところまでさかのぼって充分検討してみたい。その上で、社会科教育の基本原則とその内容・方法の把握につとめ、教科担当の専門職としての認識を深めたい。

①戦後日本資本主義の発展と教育、②教育の基本概念、③日本資本主義の発展と社会科教育、④社会科教育の基本概念、⑤中学校・高等学校の教育課程と社会科、⑥社会科の学習指導、⑦学習指導案の作成、⑧中学校社会科の目標・内容、⑨高等学校社会科の目標・内容・取り扱い、⑩教育評価、⑪教育実習の意義、⑫模擬授業を通じての社会科授業実践の研究、⑬社会科教師論、⑭教育採用試験の準備と今年度の採用について（教員採用試験の受験希望者は授業とは別に指導する）。

〔教科書〕 梶 哲夫『中等 社会科教育研究』(1) (高陵社)

遠山 啓『競争原理を超えて』(太郎次郎社)

〔参考書〕 矢川徳光『教育とは何か』(新日本出版新書)

無着成恭『山びこ学校』(角川文庫)その他、若干のルポ、小説、社会科の教科書、学習指導要領も使用する。

〔注 意〕 年間かなりの資料を作成配布するので、必ずファイルを用意すること。また年間、数回校外研修（授業参観）などを行う予定である。

## 社会科教育法

古屋野 素材

我が国において社会科について考えるということは、一教科の問題にとどまらず、必然的に教育問題全体の極めて重要な側面—政治状況と教育の緊張関係をはじめとして—を考察する方向へむかわざるを得ない。当講義では、この点をふまえつつ、社会科に関連する歴史的な問題構造を検討し、かつ今後の社会科教育が果たすべき役割とその可能性の検討を通じて、各自が教職に主体的にかかわってゆく手がかりをさぐりたい、特に、大学生として、各自が専攻する領域で深い学識を得てゆく過程をこそ、教職志向のバネとしてゆくことに価値を求める Open System の主旨にそうべく、人文・社会諸科学と社会科の関係についても、具体的に検討してゆきたい。

〔教科書〕 特に用いない。

〔参考書〕 講義中に紹介する。

## 社会科教育法

大久保 治 男

現下山積する教育上の諸問題を意識しつつ、社会科の教科教育法のより効果的实践方法を探究する。学校教育における高校の「政治・経済」「現代社会」中学の「公民」など社会科系列の検定教科書や学習指導要領を分析しつつ社会科教育法の目標、構成、内容等について考究する。さらに具体的に指導計画、指導案、指導方法、教材研究、教育評価については、受講生をグループ別にし模擬教育実習を通じて実践させることで合同的的教育方法を発見させるよう努める。OHP、スライド、8ミリ、ビデオ等視聴覚教育器機も使用しつつ一方的講義でなく受講生にも積極的に学習参加させ、将来の教師としての自覚や意欲を持たせ楽しい講義となるよう配慮する。

〔教科書〕 その都度指示する。

〔参考書〕 『学習指導要領（中学、高校の社会）』、各自が使用した社会関係の教科書

## 職業科教育法

山 田 勇 治

教職についたときに役立つように職業教育の次のような項目について取り扱う。

1. 新しい職業教育観
2. 高校の大衆化と職業教育の盛衰
3. 職業教育の諸機会

#### 4. 各国の職業教育

〔教科書〕 宮地誠哉・倉内史郎編「職業教育」講座  
『現代技術と教育4』（開隆堂）  
¥ 1,600

〔参考書〕 宮地誠哉『中等教育と職業生活』（川島書店） ¥ 1,600

### 商業科教育法

谷 敷 正 光

「職業教育」の一つである商業教育は、日本の資本主義をささえる重要な一環としてつねに重視され、産業構造の高度化、経営革新にもなつてめまぐるしく変遷してきた。そして、今回の高校教育の「多様化」政策の破綻にもなつて、再び大きく、軌道修正されている。従つて、本講は「職業教育」のあり方そのものが問われている現在、しっかりとした商業教育を樹立するため、この「教科法」を商業教育の単なる技術論に終わらせることなく、より基本的な「教育とは何か」といったところまでさかのぼり、本格的な意味での商業教育論、職業教育論を展開し、教科担当の専門職としての認識を深めたい。

①日本資本主義発展と教育・職業教育、②教育の基本概念、③職業教育（商業教育）の概念、④高等学校における商業教育の現状と課題、⑤高等学校の教育課程、⑥商業科の教育課程、⑦商業科目の学習指導、⑧学習指導案の作成、⑨商業教科・科目の個別目標・内容・取り扱い、⑩教育評価、⑪教育実習の意義、⑫模擬授業を通じての商業科授業実践の研究、⑬商業科教師論、⑭教員採用試験の準備と今年度の採用試験について（教員採用試験の受験希望者は授業とは別に指導する）。

〔教科書〕 田中義雄『商業科教育論』（多賀出版）  
矢川徳光『教育とは何か』（新日本新書）

〔参考書〕 国民教育研究所『高校職業教育の改革』（草土文化社）、遠山 啓『競争原理を超えて』（太郎次郎社）、田代三良『高校生』（岩波新書）、『あしたに甦れ』（文理閣）  
その他商業の教科書、学習指導要領、新聞の切り抜き、雑誌なども使用する。

〔注 意〕 年間かなりの資料を作成配布するので、必ずファイルを用意すること。また年間、数回校外研修（授業参観）などを行う予定である。

### 商業実習

前 田 幸 一

会社設立から商品取引に係わる事務手続きについて勉

強していく。

〔教科書・参考書〕 未定

### 職業指導

山 田 勇 治

学校における進路指導とは、中学・高校の卒業時における就職や進学のみならず、個々の生徒の発達段階に応じて、その能力・適性等を伸ばし、生徒自ら望ましい進路を選択・決定させ、その後の職業生活において自己実現できるように指導し、援助する活動をいう。ところが現状では、学力などによる振り分けが横行し、本来あるべき進路指導には程遠い。

そこで、こういった学校進路指導の現状を文部省の実施した実態調査などによって明らかにしてみたい。

また、将来職業につくための準備教育、つまり職業教育についても講述する予定である。

〔教科書〕 山田勇治著『会計教育論』（創成社）  
¥ 1,300

文部省『進路指導の現状と問題』（ぎょうせい） ¥ 200

〔参考書〕 近藤大生・有本 章編著『職業と教育―職業指導論―』（福村出版） ¥ 1,500

### 産業概説

和 田 禎 一

資本主義経済発展の原動力は、産業革命以後の新しい産業の群生、その変化に負うところが大きい。そこで本講座では、まず産業の概念、産業構造、産業組織を、現代的視点で解説し、それらを基礎に、戦後日本の経済の展開にかかわった日本の産業と産業政策を概観、分析、評価することにした。

〔教科書〕 授業にさいし適宜指示する。

### 世界史概説

前 田 正 名

世界史の流れを政治・経済を中心に簡潔に概説する。

〔教科書〕 前田正名『東アジア史概説』（文化書房・博文社）

## 世界史概説

青木道彦

ヨーロッパ世界の形成と発展を中心とするが、古代地中海世界やイスラム世界など、他の文化世界との関係にもふれながら講義を進めたい。特に近代において、欧米諸国が世界の覇権をにぎる形で、世界が一体化していったことの意義と背景に重点をおいてみたいと考えている。特に教科書は指定しないが、下記の参考書のうち一冊を読みこなすつもりで受講されるとよいと思う。

年間3～4回小テスト実施の予定、理由なくこれに欠席する者には、定期試験の受験資格を与えないので注意のこと。

〔参考書〕衣笠 茂他『概説西洋史』（東京創元社）  
祇園寺信彦編『西洋史要綱』（御茶の水書房）  
堀米庸三監修『西洋史展望』（晶文社）

## 日本史概説

芥川龍男

日本の中世に焦点をおいて講義するが、一方的な講義形式はとらず、質問、レポート等を加味して行なう。歴史の研究手法の事例をあげながら講義をすすめるので、受講生の積極的学習を強く希望する。

テキストは特に指定しないが、講義の進行によって参考文献を紹介するので積極的に読破してほしい。

年間を通じて、受講生は「歴史的な物の見方」・「歴史的な考え方」を身につける努力を、自らの計画によってすすめることを要望する。したがって、受身的な学習態度とみなされる諸君は評価の対照にしないこともあり得る。

## 地誌学概説

今朝洞重美

地誌学の本質を考察しつつ、前期に日本地誌、後期に外国地誌を講義する。

## 地誌学概説

長野 覚

世界的視野において地理学の発達・概念を理解したの

ち、現代世界の地域的特色を、自然環境やそれと関連性をもつ人文現象について考察する。

後期には幾つかの国を対象に、その国の地誌を学習する。受講にさいしては、できるだけ地図帳を併用してほしい。

〔教科書〕藤岡謙二郎他共著『世界地誌』〔改訂版〕  
（大明堂）

## 地誌学概説

渡邊盾夫

読図の方法を理解したのちに、各国の地誌について講義をする。受講の際には地図帳を持参すること。

## 自然地理学概説

早船元峰

人間生活の舞台である大地の形成過程について講じ、人間と自然とのかかわりあいについて論じる。

さらに受講生に2.5万分の1、5万分の1の地形図を用意（10枚程度）させ、それらをもとに種々なる作業（土地利用図・切峰面図・帯状平行投影地形断面図等を作成）をさせてより一層の理解を深めさせる。トレース紙・方眼紙・色鉛筆・黒インク等各人用意のこと。

## 人文地理学概説

高木 久

地理学の思想・歴史を述べ、人文地理学の方法論を考察する。「地理的な見方、考え方」の基礎の上に立って、人文地理学の各部門（地図、自然、人文関係）について概説し、人文地理学の理解と関心を深める。

## 社会学原論

渡辺源樹

“現実科学として社会学”の立場から、現代社会学の基礎理論の諸問題について体系的且つ具体的に論述するとともに、とりわけ準拠集団論に依拠しつつ、リーダーシップと凝集性・集団圧力、モラル、並びに社会規範と逸脱行動、アノミー、群衆と大衆等々についての解明に努める。

## 経済原論

小野俊夫

いわゆる近代経済学の立場から、近年の学問的成果をも考慮して、現代経済学の基本を解説し、複雑な現代経済を理解しうる力を養うことを目指す。

〔教科書〕 開講の際に指示する。

## 政治学原論

飯山勇

本講義は、政治学の基礎理論の部分を取りあげ、その原理的究明に主眼を置いて講義を行なう。特に本講義では現代政治についての理解を深める意図から、現代国家と政治過程に力点を置き、そのなかで大衆社会と政治的諸問題、政治過程と政治集団などに触れつつ、さらに主として、政治権力、国家、政治機構などを解明する。

〔教科書〕 飯山勇『政治学要論』（八千代出版）

## 民法 I

鶴井俊吉

本講義は民法のなかの財産法を対象とする。

財産法は、われわれ日常生活で最も密接に関係する法分野であり、その内容は、私有財産制の保持・活用のための法制度である。民法典のうち、総則・物権・債権編がこれに属するが、そのなかで、総則・物権に関する基礎的な解説を通じて、主要の原理・原則を理解できるように講義を進める予定である。

〔教科書〕 教場にて指示する。

## 哲学特講 I（東洋）

篠原寿雄

中国の哲学・東洋思想を理解しようとする、儒教・仏教、そして道教の学習は欠かせない。そこで前期は老荘の学と道教を学びたい。後期には墨子の非命、非儒などの精神が韓非子にいかにか受容されたかななどを中心に、先秦の人びとの心にあるものを探りたい。

〔教科書〕 その都度紹介したい。

## 哲学特講 II（西洋）

国嶋一則

人間は、何かを頼りとし支えとしなければ生きてゆけない。しかし日常、われわれは自己の人生の頼りとなり支えとなるものを自覚していない。それを自覚することは、自分がどのような生き方をしているのかを知ることである。つまり主義に拠り主張をもって生きることである。

歴史上の大きな主義を検討することによって、現代世界の有力な主義を明確にし、自己の持つべき主義を選択する手掛りとしたい。

〔参考書〕 その都度示す。

## 宗教学特講 I

松田文雄

——宗教思想および用語の概説——、特に教職単位であることを考慮し、宗教思想の潮流、および宗教思想史上の基本的用語を概説する。今年度は日本仏教を取り上げる。

〔教科書〕 プリント

〔参考書〕 随時指示する。

## 宗教学特講 II

脇本平也

——宗教現象の構造——宗教現象は、その内部にさまざまな構成要素をはらんだ複合的な体系をなしている。たとえば、宗教体験、思想・教義、儀礼、教団などの諸契機が構造的に関連しながらこれを形成している。そうした構造の分析と類型化を試みる。

〔教科書〕 脇本平也『宗教を語る—入門宗教学—』

（日新出版）

## 宗教学特講 III

洗建

現代社会における宗教の問題、とりわけ政教関係の問題をとりあげる。国家と宗教の関係を規定する法制度とその価値規範、更に底流をなす宗教文化との関係などについて考察する。

〔参考書〕 適時、指示する。

## 教育史

磯野昌蔵

わが国及び欧米諸国における青年期教育の発達を検討する。

## 宗教教育

櫻井秀雄

宗教教育の原理を究明し、できるだけ実証的な調査資料によって宗教意識をさぐり、これに対する具体的方法について考察し、家庭・学校・社会教育のそれぞれにおける宗教教育の意義と実際を研究する。

〔教科書〕 日本宗教学会編『現代青少年の宗教意識抄』

## 教育関係法規

木戸三子

教育関係諸法規（ことに教育基本法など）の歴史的成立やそれらの性格等を検討することを通し教育の本質と法との関係について考える。

〔参考書〕 『教育小六法』（学陽書房）

## 教育関係法規

船木正文

現代日本の教育法制度のしくみと内容及び教師にとって必要な教育法知識について、現実に生起するさまざまな教育問題を具体的に紹介・検討しながら、概観する。

〔教科書〕 牧木正名・平原春好編著『教育法入門』（学陽書房） ￥1,500

〔参考書〕 『解説教育六法』（昭和59年版）（三省堂） ￥2,000

## 図書館学Ⅰ

若林元典・山崎慶子

児童、生徒の学習活動や教養・趣味を豊かにするには教科書の他に各種の資料を必要とする。最も有効適切な

資料は何か、どうしたらそれらをすべての生徒に提供できるか、それらを利用する力を高めるにはどうしたらよいか、又人間形成に役立つ読書のあり方等の追求を学校図書館活動として考えて行きたい。

前期の講義内容は「学校図書館通論」と「学校図書館の管理と運用」で、後期は「学校図書館の利用指導」と「読書指導」である。

〔教科書〕 図書館教育研究会『学校図書館通論』（学芸図書）

## 図書館学Ⅱ

若林元典

小・中・高校における教育活動の肉付けとなる教材資料のうちで最も基本的な図書資料を主とし、それに図書以外の資料を加えて、各種資料の収集・整理・利用のために必要とされる知識・技能の修得を目指している。

整理は利用のための整理であり、利用の能率と効果は良質な資料の収集と適切な整理によって裏付けられる。したがって図書館学は収集・整理・管理・利用の全領域にわたる資料運用の学である。

「図書の分類」、「図書の目録」、「資料の選択」、「図書以外の資料の利用」が講義内容である。

〔教科書〕 図書館教育研究会『学校図書館通論』（学芸図書）

『図書館学演習資料 後編』（全国学校図書館協議会）

## 博物館学

倉田芳郎

学芸員課程の必修科目であり、社会教育主事課程の選択必修科目でもある。「博物館実習Ⅲ（見学）」ならびに「実習Ⅳ（特講）」と有機的に関連をもたせるので、同年度に併せて受講していただきたい。また、後期は午後いっぱい使って見学を行うことになるので、時間割を組むうえで、各自研究してもらいたい。なるべく2～3年生の時に受けておくことが望ましい。4年生で受けると、学芸員資格を卒業時に取得するのは難かしいかもしれない。本講義は博物館学の基本を講ずるので、この講義を聴くだけでは博物館を全く識るには程遠いのである。その点からいえば社教主事の資格を取得しようとする方は、なるべく他の選択科目を受けていただきたい。4月第1週の時間に必ず出席すること。

### 博物館実習Ⅰ（館務）

倉田 芳郎・鶴丸 俊明

博物館で10日間学芸員について実習を行う。学芸員課程の必修科目である。この科目は学芸員課程の総仕上げでもあり、無条件に、誰でも履修できるわけではないので、年度第1週のこの科目の時間に必ず出席すること。欠席した場合は来年度履修することになる。

### 博物館実習Ⅱ（収集）

倉田 芳郎・葉貫 鷹哉  
所 理喜夫・伊藤 玄三

学芸員課程の必修科目である。詳しくは、年度第1週の講義時間に話すので、必ず出席すること。実習の種類・時期は下記の予定である。このうちの、1つを履修すればよい。

- |            |            |
|------------|------------|
| 1. 考古学発掘調査 | 7月中旬から8月中旬 |
| 2. 民俗調査    | 8月下旬と2月中旬  |
| 3. 文書・石仏調査 | 9月下旬       |
| 4. 石仏調査    | 10月上旬      |
| 5. 遺跡分布調査  | 2月中下旬      |

### 博物館実習Ⅲ（見学）

倉田 芳郎・狩野 千秋

学芸員課程の必修科目である。

都内および都周辺の博物館を見学する。博物館・学芸員の使命・役割を識るためには教室の講義だけでは不足である。そのため、現場で学芸員の方のご講義を承り、博物館運営上の諸問題について考えたい。実習は前期・後期のいずれかの半期行うのであるが、組分けを決定する関係上、今年度履修しようとする学生は、必ず4月第1週に出席すること。

### 博物館実習Ⅳ（特講）

石 井 則 孝

昭和58年3月国立歴史民俗博物館が、千葉県佐倉市に誕生した。最近における博物館建設ブームの頂点に立つものと注目されている。こういった環境の中で、今後いかなる博物館が建設されていくのか、公立の美術館建設が一段落した中で、過去の実績を評価することによって将来像を考えてみる。文化を、行政体では行政の文化化などと使い、博物館をその中心的存在として位置づけよ

うとしている。しかし、博物館を実際に運営するのは、学芸員そのものであり、その資質によってはいかようにも変化するのである。21世紀へ向けて、今後の博物館はどのように活用され市民に定着していくのか、首都圏の博物館の動向をさぐりながら、現実を考えていきたい。

### 視聴覚教育

赤 堀 正 宜

学校教育や社会教育における視聴覚教材の利用について考える。

学校教育番組や社会教育番組の利用は、教育方法・内容の革新につながり、教育工学の一部となっている。視聴覚教育の原理・具体的な利用方法、その教育的効果を明らかにしていく。

〔注〕 特別教科書は使用しない。

〔教科書・参考書〕 大内茂男・中野照海他編『視聴覚教育の理論と研究』（日本放送教育協会）

### 日本文化史Ⅱ

圭 室 文 雄

日本文化のなかで、とくに日本の宗教の問題についてとりあげることにしたい。ここでは古代から現代に至るさまざまな宗教について吟味を加えることにし、それぞれの時代の文化にどのような影響を与えたかを検討したいと思う。

〔教科書〕 『日本人の宗教の歩み』（大学教育社）

〔参考書〕 『神仏分離』（教育社新書）

### 西洋文化史Ⅰ

椽 川 一 朗

西洋都市史を、経済・社会構造・政治・文化の諸方面から概観する。

### 西洋文化史Ⅱ

阿 部 重 雄

ヨーロッパ文明の源流にさかのぼり、ギリシア古典文化、ヘレニズム文化、ローマ文化などの特色を探る。

〔教科書・参考書〕 その都度指示する。

## 仏教美術

林 良 一

仏教美術の図像学ならびに古代インド美術の様式的展開について講述する。寺院の遺跡や仏菩薩等の尊像を、原地撮影のカラー・スライドによって映写し、視覚的に理解を深めるように努める方針である。

## 西域美術史

林 良 一

西域美術、ことに仏教美術の東伝を中心として、各地遺跡および遺品について講述する。各地の遺跡や遺品のカラー・スライドを映写し、視覚的に理解を深めるように努める方針である。

〔参考書〕 林 良一『シルクロード』（美術出版社）

## 現代美術

中山典夫

印象主義にはじまる現代美術の流れを、絵画作品を中心に、追ってゆく。講義にはスライドを用いる。

## 考古学概説Ⅰ（日本）

倉田芳郎

日本考古学研究の基礎的知識が身につくよう、講義するつもりである。年度第1週の授業には必ず出席してほしい。

## 禅美術

竹内尚次

禅林美術は禅宗教団の形成展開にもなって自然に発生したもので、禅そのものとは明確に切断されなくてはならない。この禅林美術の本質を究めるために、上代仏教美術とくに平安初期に空海将来の密教美術と対比して考える。

なお、禅林美術の豊かな爛熟した開花と結実とを、その中心となる絵画作品群の主題を根底から分析することによって、そのなかに在る本質を解明する。具体的には国宝・重要文化財のうち、テビカルなものを採りあげて、教材すなわち研究対象として、現時点においてのデータを手がかりとして、いっしょに考えてみる。

〔参考書〕 玉村竹二著『夢窓国師』（京都平楽寺書店）  
同氏著『五山禅僧伝記集成』（至文閣）  
竹内尚次著『近世禅林美術』（至文堂 日本美術シリーズ）

## 考古学概説Ⅱ（外国）

飯島武次

『考古学ゼミナール』の講読を通じて世界考古学について講義を行なう。

〔教科書〕 江上波夫監修『考古学ゼミナール』（山川出版社、1976年、学生版） ¥ 2,800

## 考古学特講Ⅰ

飯島武次

WANG ZHONGSHU, "Han Civilization" の講読を行なう。

〔教科書〕 WANG ZHONGSHU, "Han Civilization," Yale University prss, 1982  
¥ 12,800（コピー可）

## 美術史概説

林 良 一

中国の魏晋南北朝より朝鮮の三国時代を経て、わが国の飛鳥・白鳳期の美術にいたる様式的展開について講述する。各地の寺院遺跡や遺品などのカラー・スライドを映写し、視覚的に理解を深めるように努める方針である。

## 考古学特講Ⅲ

狩野千秋

アメリカ大陸の古代文明のうち、とくにマヤ、アステカを対象として、それぞれの文化の生成過程と特質について考察する。

〔参考書〕 『マヤとアステカ』（近藤出版社）  
¥ 3,500

## 日本民俗学

小島清志

前半は、柳田国男以来展開されてきた民俗学の学説史を概観し、何が問われ、どのような方法によってきたのかということ、いささかなりとも明らかにしたい。後半は奄美・沖縄におけるフィールドワークにもとづきながら、現代の民俗学の諸問題、特に民俗社会の変化、都市・農村問題について考察することとしたい。

〔参考書〕 講義の中で随時指示する。

## 仏教民俗学

和田謙寿

文化財の集いや郷土史研究会などに臨んだ時、必ず仏教文化的な知識が必要となってくる。また、葬式や法事などに出かけると必ず仏事などに関する質問を受けるものである。このような場合に対処できるように、冠婚葬祭のうち、特に葬祭の面に比重を置き、今年度の講座を進めて行きたいと思う。なお、実地巡検や特殊ゼミを実施する場合もあるので、年額1～2万円位の費用を用意する必要があると思う。

〔教科書〕 和田謙寿著「仏教の発展—民俗学・歴史地理学的考察—」（仏教民俗学研究会発行）  
¥ 2,900

## 宗教人類学

佐々木宏幹

日本・東アジア・東南アジア各地の諸社会に関する宗教人類学的な研究成果を取りあげ、検討する。宗教的観念と社会組織との関係や宗教儀礼の構造、社会—文化的意味についても考察する。テキストはその都度紹介する。

## 考古発掘実習

飯島武次

野外における発掘実習を行なう。夏休みの発掘実習に、20日間以上参加することが必要である。年度始めの講義時間に必ず出席のこと。

## 社会福祉概論

高橋重宏

近年、社会福祉は流行語の一つとなっているが、社会福祉とは何か？ ということになると、その解釈は人さまさまで、その内容や課題について的一致した見解が、必ずしもあるとはいえない。

日常生活のなかでも「慈善」、「慈善事業」、「社会事業」、「社会福祉事業」、「社会福祉」、「福祉」、さらに「ソーシャル・ワーク」、「社会保障」などのことばを安易に混乱し使用している場合が多い。

本講義では、まず、これらの基礎的な概念の整理をすることから始めたい。ついで、社会福祉の歴史的展開過程、社会福祉のしくみ、分野などについて論及し、社会福祉の諸制度の現状と課題について、一応の体系的理解ができるようつとめたい。

〔教科書〕 高橋重宏・島村忠義編著『社会福祉を考える』（川島書店）

〔参考書〕 『社会福祉六法』（第一法規）  
『現代社会福祉事典』（全国社会福祉協議会出版部）  
なおその他の参考文献については図書館発行の『読書案内』（昭和59年版）を参照してほしい。

## 障害福祉論

原田信一

主として、わが国における心身障害児(者)福祉の発展過程をその淵源にさかのぼりつつ講じたい。なかでも、とくに、思想面（社会的規範）と政策面等の二面的視角にたち、その原点を探るとともに、さらに欧米先進国のそれとの対比から、わが国の心身障害福祉の見直しをはかり、新たな課題構築の素ともらう。

〔教科書〕 星野他編『障害福祉論』（第二版）（有斐閣）

〔参考書〕 林邦雄他『心身障害児(者)福祉』（田研出版）

## 社会福祉実習Ⅰ

原田信一

これまで自らが、大学の場において学びとってきた福祉学という学問を、実習現場において、実際の福祉従事体験等を通してそこにかなる相反や矛盾面があるかなどの現実認識を深めながら、福祉の本質の一端を学びと

ってもらう。一方、大学においては、実習前に、オリエンテーション、現業機関の組織、機能等を実践に即した概説などをトータル的に教導し、さらに実習後においては、反省・討議を行う予定である。また、実習にのぞむにさいしては、各自が、実習の目的を適確にとらえ、何をとくに実習するかの問題意識を整理し実習にのぞんでもらうことについては今更言うまでもないことである。

〔教科書〕 橋本泰子他編『社会福祉実習』（相川書房）

## 社会福祉法制

小林 弘 人

本講義は、憲法25条を具体化する社会保障社会福祉に関する法を検討・整理・体系化することを目的とする。前期の前半は、『社会学研究』15号所収の「西ドイツにおける社会行政法」を資料にして、主として西ドイツにおける社会福祉に関する法の問題点を検討する。この検討を終えた後は、教科書『社会事業法制』に準拠して、当初の目的達成のための講義を行う。

〔教科書〕 小川政亮『社会事業法制』（ミネルヴァ書房）

## 公的扶助論

小 沼 正

公的扶助は、社会保障とくに所得保障において、社会保険と並ぶ主要な部門であり、貧困救済の最後の安全網 Safety net といわれる。わが国では生活保護制度によって代表される。

生活保護について、欧米諸国を念頭において、歴史的生成過程とそのもつ問題点——貧困と最低生活保障、最低生活水準とその算定方法、保護率、受給者の権利意識その他、および将来の方向などを取上げる。

これらの諸問題は、ひろく社会保障そのものをも規定する基本的条件である。

〔教科書〕 小沼 正著『貧困—その測定と生活保護—』〔第二版〕（東京大学出版会）

〔参考書〕 籠山 京著『公的扶助論』（光生館）  
仲村優一著『生活保護への提言』（全社協選書）

## 児童福祉論

原 田 信 一

今日、児童をめぐる法律・制度は整備され、社会福祉分野においても、いちじるしい進歩をみた。しかし、現実面では必ずしもそうとばかりはいいきれない。つま

り、日々、目まぐるしく激動する社会で、引切り無しに生起する種々の児童福祉侵害問題に対応しきれない状態が今日の姿である。児童の人権無視にはじまり、公害・家庭崩壊・機能低下など限りなく現出し、まさしく児童福祉の危機的様相をみせている。そこで、本講においては、児童福祉を広い視座から考察し、児童への理解と併せて、児童に関連ある法制度にも言及しさらに、狭義の児童福祉事業にもふれ講じてゆきたい。

〔教科書〕 原田信一『現代児童福祉学』

〔参考書〕 高橋重宏編『児童福祉を考える』

## 老人福祉論

奥 山 正 司

### I 老後・老人問題の背景

1. 人口の老齢化
2. 老人と家族
3. 老人の経済状況と職業
4. 老人の身体的、精神的障害

### II 老人福祉対策の現状と課題

1. 施設福祉対策の課題
2. 在宅福祉対策の課題
3. 老人に対する処遇

## 社会保障概論

小 沼 正

先ずわが国制度の現実を把握するため、その主要な所得保障（年金保険、公的扶助、児童手当など）、医療保障その他について概観し、それぞれの問題点を取上げる。

ついでこれらをふまえて、その生成と発展に視点をおいて、欧米諸国をも含めて、社会保障の体系、社会経済的条件、財政、国際比較などについて、論点を進める。

〔教科書〕 小沼正・地主重美・保坂哲哉編『社会保障概論』（川島書店）

〔参考書〕 地主重美編『社会保障読本』（新版）（東洋経済新報社）

社会保障研究所編『社会保障の基本問題』（東京大学出版会）

福武 直著『社会保障論断章』（東京大学出版会）

## 地域福祉論

岡田 真

「地域住民に“根廻し”をするにはどうすべきか」を中心に論ずる授業である。“根廻し”はなぜ施さなければならないのだろうか。それは、ケースワークやグループワークを、現実の住民生活のなかに定着させるためである。

「ワーカーは福祉三大技術を総合的に駆使しなければならない」(integration)と言われるが、その具体的な意味は、上記の通りである。その点で本講は「方法総論」、「ケースワーク論」、「グループワーク論」と補完関係にたつものである。

①地域福祉の基本課題。②コミュニティ・ケア。③コミュニティ・オーガニゼーションが、本講の内容であるが、第①のテーマはそのまま地域問題論である。従って、同じ担当者の都市社会学を、ともに知ってくれることが望ましい。(もちろん本講だけを履修する人に不利や理解困難が生じないように細心の工夫はするが)

〔教科書〕 岡田真『コミュニティ・ワーク論』(大明堂)

〔参考書〕 岡田 真『都市化日本の学歴社会』(大明堂)

小沼 正『日本の福祉の課題と展望』

『日本都市学会年報』(1983), 『駒大文学部研究紀要』(1981), 『駒沢社会学研究』(1982)の岡田論文。

## ケースワーク論

高橋 重宏

ソーシャル・ワーク実践の専門技術の一つであるソーシャル・ケースワークについて、まず、ケースワークの意義、定義、歴史的展開過程、原理、トリートメント過程、関連理論などについて論及する。さらに、ケースワークの臨床事例を紹介し、ソーシャル・ケースワークとは何かが体系的に理解できるようにつとめたい。

なお、後期の臨床事例研究では、小グループでのディスカッション、発表など、学生の主体的参加を求めるので留意しておくこと。

さらに、講義を効果的に展開するために『社会福祉方法総論』の単位を修得した学生の履修を原則とする。

〔教科書〕 久保絃章・高橋重宏編著『ケースワークを考える』(川島書店)

〔参考書〕 必要に応じ指示する。

## グループワーク論

松本 栄二

社会福祉実践の方法としてのグループワークについて、具体的実例を用いて解説する。そのなかで、グループ活動との相異点から更らに Social work with group の立場をとる理論についての説明も行う予定。受講者は、ボランティア活動であるとか、何らかの福祉分野における経験をもっていることが望ましい。

授業方法は出来るだけ講義はさけ、(前期の暫らくはやむを得ないが)、受講者による報告やバス、セッションなどを操り入れたものでやる予定、実例は適時配布する(実費徴収)。

## 社会福祉事業発達史

林 千代

社会事業は、近代社会がスタートするにつれて生成したと考えられている。もちろん、いつの時代にも、生活の不安は自然の変化と社会の変動によって生み出されてきたといえる。社会の変動期には、常に多くの問題が生じ人々は生活困難におちいった。こんにちの社会福祉事業、社会福祉、社会保障、福祉国家に至るプロセスは長く、かつ遠かった。外国、特に英国そして日本にわけて、対象の存在と問題解決の方法、方法の意図や施策の背景をなす社会福祉の思想等々を中心に講義していきたい。一定の歴史的産物である社会福祉その本質は何か、その現状は等々を考えるためにこそ、歴史を学ぶ意義がある。

〔教科書〕 未定

〔参考書〕 その都度紹介していく。

## 母子福祉論

林 千代

私は、婦人問題の視点から婦人福祉を組立てているがそれは、性差別を根底に婦人の生存や生活が不安定化する局面、その解決へのプロセス、施策が主な内容になる。そして、婦人の生存さえあやぶまれる状況の一つが母子家庭になった時なのである。これらは、いわば婦人問題の集約であり、福祉施策の最も具体的な対応がせまられる。このような問題意識に立って、講義のあらすじを示すと次のようになる。1. 母子家庭とは(法的規定生成要因など)、2. 母子家庭の生活実態とその困難(所得、消費生活、家事機能、住宅等)、3. 母子家庭の生活問題に対応する母子福祉施策(経済的負担に対し

て、育児、病气、住宅について、母子寮についてなど)

〔教科書〕 特になし。

〔参考書〕 その都度紹介していく。

### 医療社会事業論

春見 静子

英国、アメリカ、日本における医療社会事業の発達、医療社会事業の分野とその特色(病院、保健所、社会福祉施設)をふまえて、医療社会事業の方法、すなわち患者とどうかかわるかという具体的な問題をバーガーの手引書に従って検討し考察する。

〔教科書〕 ミルトン・M・バーガー『病むということ』(星和書店)

〔参考書〕 中島さつき『医療社会事業』(誠信書房)

### 社会福祉方法総論

高橋 重宏

社会福祉実践の専門技術の基礎について学ぶことが中心となる。

具体的には、ソーシャル・ワークの基礎知識及び関連理論、歴史的展開過程、現代社会におけるその独自の社会的機能を明確化させつつ、ソーシャル・ワークについての入門的解説を中心に展開したい。

さらに、事例を用いながら、ソーシャル・ワーカーになるための基礎理解を深め、ソーシャル・ワーカーとしての基本的姿勢についても追究する。

〔教科書〕 高橋重宏・宮崎俊策・定藤弘編著『ソーシャル・ワークを考える』(川島書店)

〔参考書〕 必要に応じ指示する。

### 社会福祉管理運営論

重田 信一

社会福祉の実践を推進するには、社会福祉の制度を整えるとともに、その制度を効果的に運営するための福祉専門性の関連を問題にしなければならない。その手段・方法を地域ぐるみ、施設ぐるみの形態を通して展開するが、その効果をたかめるには、いかなる配慮が必要かもあわせ検討する。講義を福祉経験の浅い学生にも理解しやすいよう事例を引用して説明する。特に社会福祉行政、社会福祉実践に関心のたかい学生を歓迎する。

〔教科書・参考書〕 開講時に指示する。

### リハビリテーション論

原田 信一

リハビリテーション領域のなかで、いちじるしく遅れをみせているのが、社会リハビリテーションであるといわれている。この分野は、内蔵する問題が広汎・多岐に亘っているばかりか、いずれも、困難な問題を抱えていることが、いちじるしい遅滞をもたらす原因につながっているといわれている。そこで本年はとくに、社会リハビリテーションに視点を絞り、その基本問題をふまえながら、社会・文化的環境を考察し、政策と実践の方法論、それらを支える隣接科学面ならびに、リハビリテーションの国際的展望等について概説したい。

〔教科書〕 講義ノートによる。

〔参考書〕 随時指示する。

### 社会教育概論

磯野 昌蔵

- 社会教育制度と法
- 学校教育と社会教育
- 社会教育関係団体

### 社会教育方法論

磯野 昌蔵

社会教育の諸形態と施設について検討する。

### 社会教育行政財政

酒匂 一雄

社会教育行政は、施設の設置・運営、集会の開催、資料の作製その他の方法で、「すべての国民があらゆる機会、あらゆる場所を利用して、自ら実際生活に即する文化的教養を高め得るような環境を醸成するように努める」ことを課題としている。

この視点から、①社会教育の本質と社会教育行政、②わが国の戦前の社会教育行政、③戦後の社会教育行政の理念と制度——法制・施設・職員など——、④経済政策

と社会教育政策, ⑤住民と社会教育行政, ⑥社会教育の民主化, ⑦社会教育行財政の動向と課題などを講義する。

〔教科書〕 必要によりプリントを用意する。

〔参考書〕 小林文人他『社会教育ハンドブック(改訂版)』(エイデル研究所)

『社会教育行政必携』〔58年版〕(第一法規)

## 教育社会学

村山輝吉

人間の発達というテーマを, 主として社会環境と文化の変容という観点から考察する。

1. 教育社会学の性格
2. 家族の訓育機能
3. 仲間集団と人間形成
4. 学校の陶冶・形成機能
5. 地域社会と教育
6. 文化の変容と子どもの発達

## 社会心理学

坪井健

本講義は, 社会心理学をめぐる諸問題に配慮しつつ, 基本的には社会生活をしている人々の社会心理諸現象を, これまでの社会心理学が明らかにしてきた知見に依拠して, その社会的過程と心理的過程を分析的に解明することを目的とする。

〔教科書〕 講義の中で指示する。

## 社会教育施設

村山輝吉

1. 社会教育施設とはなにか
2. 社会教育施設の歴史と現状
  - (1) 日本
  - (2) 外国
3. 関係法規等
4. 施設各論
  - (1) 公民館
  - (2) 図書館
  - (3) 博物館
  - (4) その他
5. 施設職員の問題

## 児童教化

富田博之

「児童教化」の現代的形態としての〈子ども文化(児童文化)〉の成立過程(歴史)と現状を探り, 併せて〈子ども文化〉の現場で働く人のための実習を行なう。

〈子ども文化〉の歴史では, 主として, 子どものためのコミュニケーション・メディアの発達史を扱い, その現状では, 主として, 子どものためのマス・コミの状況について学習する。

実習は, 〈子ども文化〉の活動家にとって必須な, 身体とことばによる表現とコミュニケーションの方法の初歩を学習する。

〔参考書〕 ホグベン著・寿岳文章他訳『洞窟絵画から連載漫画へ』(岩波文庫) ¥450

富田博之『学校文化活動論』(明治図書) ¥2,000

## 青少年問題研究

和田謙寿

中学校や高等学校の教師をめざす者。または, 青少年の指導者を志す人を対象とし, 理論と現実の両者をつめつつ講義を行いたい。特に学校の教師になる場合は, 専攻した学科は当然の事, 受持クラスの生活指導にも大きな比重をかけて尽くさねばならぬ。その点に深く留意して授業をすすめる事にする。(特に少年の問題に興味のある者は, 青少年問題研究室の研修生として入室されるのも一方法であろう。)家庭内暴力・校内暴力・暴走族・薬物乱用など, 種々社会問題としてとりあげられているが, これらの問題も時間の許す限り取り組みたいと思っている。教科書は考慮中。

## 青少年指導演習

和田謙寿

国や地方公共団体が年々増加する青少年の非行化に対応して万全の策を尽しているが焼石に水の現状である。この種の問題は理論だけで済まされるものでなく, 現実面からの考察が必要である。将来, 少年補導員や青少年指導員, 民生委員(児童委員)社会教育主事や福祉主事, 生活指導教諭等に従事しようと希望する人たちには是非とも必要な講座である。最近の新聞報道によれば現在の学校教師や福祉主事の仕事を果すためには, 青少年の非行化は是正指導に通じていなければ用をなさないと言われている。この線にそって, 少年補導学, ケース・ワークを中心に進めて行きたい。

## 社会教育演習

上岡安彦

秋期に埼玉県川口市内の公民館、図書館、児童文化センター、幼児会館、青少年会館、婦人会館等で一週間の社会教育実習を行ないます。

実習前は、社会教育実践記録として『成人教育への挑戦』を読み、実習後はマクロの視点から『生涯教育』を読みます。

〔教科書〕 永田良行『成人教育への挑戦』（全日本社会教育連合会） ¥ 750  
エットーレ・ジェルビ・前平泰志訳『生涯教育』（東京創元社） ¥ 1,500

## 教育評価

大浜幾久子

生徒の発達を正しく測定し、評価することは、本来、教師の教育実践の中で重要な仕事である。教師は、評価を通して、生徒のつまずきを発見し、自らの実践を反省する。また生徒も、評価を手がかりとして、以後の自分の学習の方向を考える。ところが、教育評価ということばから多くの人がまず思い浮かべるのは、学力テスト・偏差値・通信簿・内申書等であり、これらは、大多数の父母・教師そして生徒にとって、今日の学校教育の矛盾の象徴として映っている。では、教育評価の本来の機能をとりもどすにはどうしたらよいのだろうか。教育評価の理論の歴史をたどり、また教育測定・評価の技法を実習を含めて学ぶことにより、この問題を考えていく。

〔参考書〕 梶田毅一『教育評価』（有斐閣双書） ¥ 1,800  
中内敏夫・三井大相編『これからの教育評価』（有斐閣選書） ¥ 1,400

## 教育法規研究

神田修

教育と法（規）とのかかわりや、そのあるべき関係などを学ぶことは、現代においては教育問題を考えたり、教育をよくしていくために欠かせないことである。

教育と法（規）とのかかわり、その意義、教育法（規）の原理と歴史、さらに教育法（規）に関する個別的問題について、できるだけ内外の具体的事例を通じて学習することにしたい。

〔参考書〕 『解説教育六法』（三省堂） ¥ 2,000  
『史料日本の教育』（学陽書房） ¥ 2,200  
『教育法規事典』（北樹出版） ¥ 1,800

## 成人指導及青少年指導

酒匂一雄

子どもの発達と家庭・地域の教育を中心に講義する。  
①現代教育にとって、青少年の発達にとって、家庭・地域はどういう意義をもつのか。②地域の子育ての習俗、戦前の少年団体の歴史を概観。③現代の子どもの生活構造の変容、学校外教育の動向、“地域の教育力”の内容を把握。④地域子どもをめぐる国の政策。⑤地域の教育と社会教育行政、児童館や学童保育の現状、学校と地域の連携協力とそこでの「指導」のあり方などを考察する。⑥あわせて、成人の発達と学習方法を概観し、「指導」の種々相を吟味する。

〔教科書〕 必要によりプリントを用意する。

## 生活指導

秋山さと子

現代のおとなたちが、おとなの合理的な考えで、子どもたちへの対策を考えれば考えるほど、結果は逆になるような気がします。

想像力も育てずに自立させられてしまう子どもたちは、自分の不満や抑圧された本能的衝動の結果を、既成の学問の理論を借りて説明し、その解釈ですべてを割り切って、その中に逃げこみ、実際に自分の心に問い直すことをしていないのではないのでしょうか。

〔教科書〕 秋山さと子『ユング心理学』（講談社現代新書） ¥ 420

## 教育哲学

汐見稔幸

この授業は、少人数のゼミ形式をとりながら、教育とはなにかとか、人間が発達するとはどういうことかなどについて、じっくりと考えあうことをねらいとしています。ですから参加者は、上記のような問題を一度徹底して考えてみようと思っている人に限定したいと思います。テキストとして、一応ルソーの『エミール』を考えています。参加者の希望によって変更もあります。そのテキストをどう読むのかを毎回報告していただき、討議するというスタイルを進めたいと思います。詳細は第一回目の授業で決めます。

## 教育調査

大塚雄作

教師は、生徒の学習状況をはじめ、さまざまな観点から生徒に関する情報を収集する必要に迫られる。そればかりか、教師自身や、一方、学級・学校に関しても、いろいろと知りたいことが出てくるであろう。そこで、ここでは、教育実践の中でしばしば直面すると思われる具体的な場面で、どのような情報の収集を行えばよいかを考察してみる。特に、テストやアンケート調査等については、それらを実際に作成・施行・分析してみることによって、体験的に問題点を掘り下げるつもりである。

〔教科書〕 特に指定しない。

〔参考書〕 池田 央『調査と測定』（新曜社）

¥ 2,800

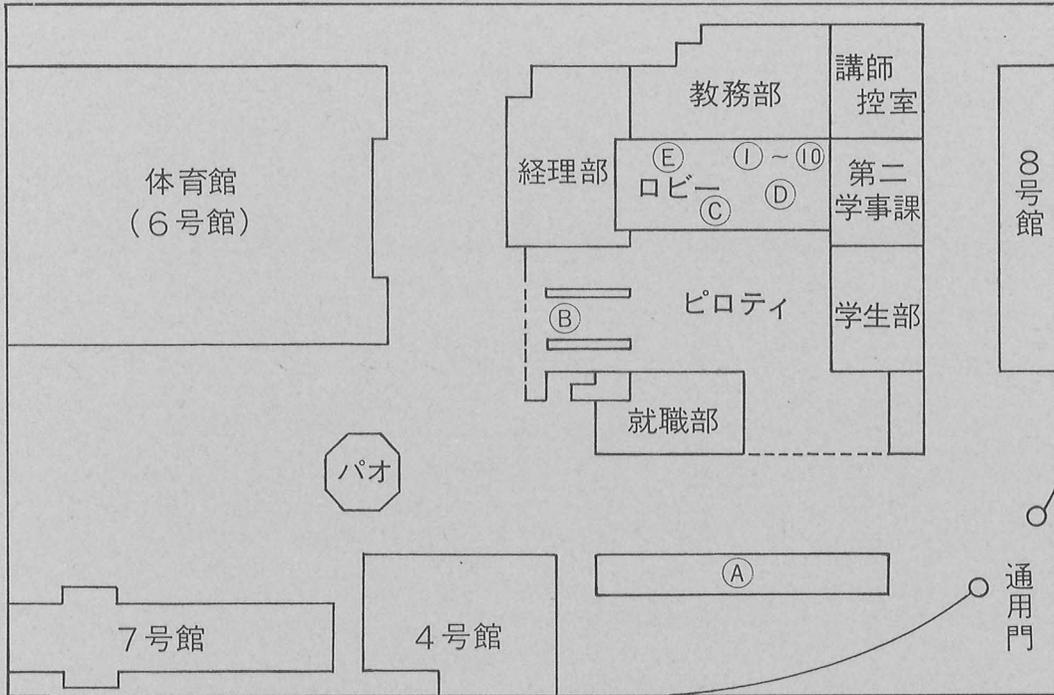
塩見邦雄他『心理検査・測定ガイドブック』（ナカニシヤ出版） ¥ 2,500







## 教務部窓口及び掲示板案内



①教職課程

学校図書館司書教諭講座

②博物館学講座

社会福祉主事講座

社会教育主事講座

④証明書(教務関係)申込受付・発行

(健康診断書および  
在学証明書は学生部)

諸証明書申込用紙は経理部前にあります。

⑤諸届願 (休学・退学・復学・死亡  
改氏名・本籍地変更・保証人変更  
保証人住所変更・聴講)

⑥大学院関係・留学生関係

学部演習 (仏教学部・経済学部)  
法学部・経営学部)

卒業論文(仏教学部・文学部)

⑦時間割変更・休講・外国語指定届

卒業証書・転部科

⑨履修・試験・成績・学業相談

①第1 掲示板(表面)……………公示・告示, 学生部関係連絡事項, 教務部関係(試験・教職・研究室等)連絡事項, その他

第2 掲示板(裏面)―臨時掲示板―

……………教務部関係連絡事項(12月~3月), 就職部関係連絡事項(9月~11月)

②第3 掲示板―臨時掲示板―

……………教務部関係連絡事項(12月~3月), 就職部関係連絡事項(9月~11月)

③休講掲示板

④授業時間表カウンター

⑤大学院・留学生関係掲示板

